# 敵母艦以下五隻を撃沈

京城日報
月刊　朝刊
本日朝夕刊共八頁

## 社説　翼賛選擧に望む

翼賛總選擧は本月々末を以て行はれる。既に選擧期日告示後候補として立候補者の屆出を見推薦、自由、合して一千五十名に達せんとしてゐる。即ち立候補者の屆出は最早その大部分を終り、一段落を告げたものと見てよい。今後は殘された二旬に亘つて活潑なる選擧戰が展開されるであらうが、我等は今回の總選擧が持つ意義の重大なるを思ひ、從つてその成果に就て深甚の注目を拂ふものである。

今回の總選擧は實に五年目に行はれるといふことに意義があるのではない。それは大東亞戰下、必勝の信念に燃える國民の總力を結集するところに意義があり、この有史以來とも稱すべき大東亞戰爭完遂のため大政翼賛の熱意に燃える積極的目的有爲の人材が議會に總動員されねばならぬ事に意義があるのである。かくて大東亞戰爭を飽くまで勝ち拔く清新强力なる翼賛議會の確立こそ、我等の熱望して已まざるところである。政府に相呼應して起つ……翼賛政治體制協議會の目ざす所にあり、候補者を推薦して……潑なる啓蒙運動に乘り出したのも、この爲であると信ずる。

思ふに從來の議會は自由主義的民主々義の底流してゐたことは見逃せない。その故にこそ政黨は滿洲事變以來行詰りを生じ支那事變以來は各方面から再檢討を要望されるに至つたといふ。これは時局下當然の事と思ふがある。

……告げた今日迄の經過を見……前回に比して著しく出……く、新人が壓倒的に多いこと目立つ。而もその新人の分野……に於ても前回とは著るしく趣を異にし、新鮮味を帶びてゐる。……べき清新强力なる議會が成立することを期待して已まないのである。……翼賛議會確立への熱意の滿發するところであつて尊ぶべき事である。然し選擧は今日のところでは候補者の顏觸れが決つたに止まり、これが選擇は今後にある。而してこの一千餘名の候補から誰を選ぶかは有權者たる國民の判斷にある。この際、候補者も國民も大政翼賛の赤心に燃え、正々堂々の運動、……して誤る事なき判斷を以て終始せねばならないこと勿論である。かくて本選擧を通じ益々國民の總力を結集して野に遺賢なからしめ、以て時局の新段階に即應する……

# 敵機六十を撃墜破
## 海鷲再びセイロン島強襲



**大本營發表**（十日午後四時卅分）印度洋に作戰中の帝國海軍部隊は四月九日セイロン島ツリンコマリ方面を强襲せり、同方面の戰果左の如し

一、**艦艇撃沈**　英航空母艦ハーミス、英乙巡バーミンガム型一隻、同乙巡エメラルド型一隻、驅逐艦一隻、哨戒艇一隻　**大破**　英乙巡リアンダー型一隻

二、**船舶撃沈**　六隻

三、**飛行機撃墜**　五十六機　**地上炎上**　四機

四、**その他**　軍事施設に大損害を與へたり

右作戰においてわが方飛行機十機を失へるほか艦艇に損傷なし

## ツリンコマリを攻撃

【リスボン九日同盟】コロンボ來電＝コロンボ英當局發表に依れば、日本航空部隊は九日午前コロンボ空襲と前後して、セイロン島東南岸の軍港ツリンコマリにも攻撃を加へた

## バタアン半島 陷落時間の問題

【比島〇〇基地十日同盟】敵が難攻不落を呼號したバタアンおよびコレヒドールの敵陣は、わが總攻撃開始以來七日にしてその死命は完全にわが掌中に收められるに至つた、敵軍如何にコレヒドール島の孤壘を死守したにせよ、わが陸海精鋭の包圍猛攻撃の前には文字通り風前の燈火に過ぎず、抗戰か降伏かそのいづれにもせよ、目下敵の運命は時間の問題となつた

## 英、制海權を抛棄す
## 大艦隊いまや何處に
### 印度洋新作戰の意義闡明

平出大佐講演

平出大佐

【東京電話】大本營海軍報道部課長平出英夫大佐は十日午後七時半より約三十分間AKより「海軍作戰の新展開」と題して、大要左の如き講演放送を行ひ今回の印度洋新作戰展開の意義を述べ、全國民が一層緊張してこの大戰果を完うすべきであると强調した

皇軍の縱横無盡なる大作戰はいまや西は日本へ距たる五千浬の印度洋へ、東はこれまた五千浬になんなんとするアメリカ西岸へと伸び東西實に一萬浬、北はアリューシャン群島から南は赤道を越えて遙か濠洲におよぶ大戰域を形成するに至つてゐる、而もわが戰略態勢は大東亞海における制海權、制空權の掌握と敵根據地の覆滅ならびにその緒につかんとしてゐる、南方大資源の開發と相俟つていよいよ難攻不敗の固きを加へんとしてゐる、米英は日本の戰力はシンガポール、ジャバの攻略をもつて限度として印度洋作戰の如きは到底不可能だと國民に盛んに宣傳してゐた、然るに滿々たる餘力を持つわが海軍はジャバ海方面の殲滅戰にもいさゝかの疲れも見せず、アンダマン諸島の攻略なるや突如驅逐艦、航空部隊の三兵力をもつて今回のわが印度洋作戰は水上艦艇をもつて

**驅逐し**　盡されば止まぬ權し、その脅威を撃攘たる大海原より凡ゆる敵勢力をンド、西は南アフリカに至る渺々洋洋より南は濠洲、ニュージーラ海洋作戰は實に東はアメリカ太平作戰の序の口に過ぎない、わが大も今回の印度洋作戰はわが大海洋戰爭し敵を戰慄せしめてゐる、而などのイギリス海軍の軍事施設をると共にツリンコマリ、コロンボにある一切の敵艦艇の覆滅を期す戰一齊に爆撃作戰を展開し同方面としてセイロン島を始めベンガル

てする立體作戰の妙を極度に發揮し、大本營發表の通りコロンボ方面においては早くもイギリスの一萬噸巡洋艦二隻を撃沈、飛行機六十機を撃墜したほか、敵艦船の撃沈したもの廿一隻（十四萬噸）大破したもの廿三隻（十二萬噸）におよびその陸上の軍事軍事施設に大打撃を與へるといふ大戰果をあげたが、九日セイロン島ツリンコマリを爆撃したわが部隊はイギリス航空母艦ハーミスをはじめ乙巡バーミンガム型一隻、エメラルド型一隻、驅逐艦一隻、哨戒艇一隻を撃沈、更に乙巡リアンダー型一隻を大破したほか船舶六隻を撃沈、飛行機六十機を撃墜炎上するといふ大戰果をまたしてもあげイギリスが東亞における最後の恃みとする印度洋制海權に致命的な脅威を與へてゐる印度はイギリス皇帝の王冠中最大の寶石といはれてゐる通りイギリス本國は印度の豐富な物資に依存すること甚大なのであるが、物資だけでなくその人的資源に頼つてゐることも見逃してはならぬ、イギリスは前大戰に印度より百二十萬の軍隊の來援によつてドイツと戰つたのであるが、今次のイランイラクや北アフリカの戰線の主力も實に印度軍隊である、イギリスが如何に印度に頼つてゐるかはこの例からしてもはつきり判る、イギリスがこの印度を

**三百餘**　年にわたつて實庫として確保出來たのは實に印度洋制海權を握つてゐたからである　しかるにその印度洋制海權は今やわが海軍の攻勢の前に深刻な脅威を受けてゐる、ベンガル灣の制海權はすでにわが手に歸したといふべくイギリスは印度制海權の半分をすでに失つたわけである、やがては印度洋全域の制海權を失ふことは必然である、印度洋の制海權を失つて實庫印度の確保は望めない、しかして印度を失ふことは實に英帝國の崩壞を意味するものである、これで注目すべきはこの方面にありと略確認されてゐた、イギリスの戰艦が姿を見せなかつたことである、彼らはわが猛攻の前に早くも影を潜め逃げ去つたに違ひないがわが海軍は敵が逃げ廻らうともこれを捕へた以上必ずこれを海底に叩き込まずにはおかない、いはゆる『大英印度艦隊』なるものは果して今いづこに潛在するか、制海權を死守しなければならぬ主力部隊がわれ先にと逃げ出しては制海權を確保することが出來ないといふことは、制海權の拋棄を證明したも同然である、いふまでもなくイギリスの

**東亞制**　覇は主としてその海軍勢力に依存してゐたのであるが、その海軍勢力はシンガポールを追はれて印度洋へ退き今また東亞における最後の足場である印度を拋棄してスエズへ、ケープタウンへと逃避するの情勢に追込まれつつある、かくの如くイギリス海軍の戰意喪失によつていよいよイギリスの生命を託する最大の輸血路は今や重大な危機に直面するに至つた、海軍力にたより得なくなつたイギリスが海軍力にたより得なくなつて果して何によつて國家の存立を支へ得よう、印度洋作戰の進捗がイギリスの軍事、政治、經濟にわたる深刻なる打撃を國民に與へる思想上の影響はけだし想像に餘りあるものがある、何故米英艦隊は脆いか、それは驕慢の心が彼らを支配してゐたと申すのほかはない米英海軍が驕慢に流れ他を輕蔑して海軍兵術の研究を怠つてゐる間に帝國海軍は血の出るやうな兵術研究と新軍備を建設したのである　あくまで進撃して

**徹底的**　にイギリス海軍を殲滅せねばやまぬ、またもイギリス海軍が印度洋の制海權を守らんとして大擧反撃して來るとすればわが方の思ふつぼであつて誠に樂しい期待がもてるといへる、しかもわが海軍は今なほ主力艦、航空母艦、巡洋艦が全然無傷のままであることはもとよりのことその他の艦艇航空部隊もその消耗は極めて僅少である、ただはつきりしておかねばならぬことはわが印度洋方面の武力行使は、あくまでイギリスに對するものであつて東條首相の言明にも明かな通り印度の住民には全然他意のないことである、印度が殘民か獨立せんとして獨立し得なかつたのはイギリスが印度洋の制海權によつて印度に對する生殺與奪の權を握つてゐたからであるが、イギリスがあくなき搾取に昧つてゐたその力の根源である、制海權はいまやわが軍の手によつて斷たれんとしてゐる、いまこそ印度解放の天來の好機である、また印度洋作戰が重慶政權に致命的な打撃であることも見逃してはならぬ、わが陸軍がラングーンを陷落したのち重慶政權が命の綱として頼つてゐたのは印度のカルカッタ線とカラチパミール高原線だつた、しかるにいまやこれら補給路の源泉である印度洋がわが手に押へられつゝあり、すでにその補給路前線は遮斷されたも同樣である、重慶はこゝに最後の

**孤立に**　陷つたと見るべきであらう、一方濠洲はわが作戰の進捗によつて米英より孤立化して印度洋の孤兒となり上下を擧げて戰慄のルツボに投込まれてゐるが、首相カーチンは濠洲の防備に就ては關知しないと述べてゐるこれは米英に對する捨台詞とも見えるがこれは濠洲の或る部分はアメリカの屬國となつてゐることを物語るものである、現にフイリツピンを逃げ出したマツカーサーが司令官として濠洲防衞の全權を委ねられてゐるが、米はマッカーサーを通じて濠洲の陸海空軍を完全にその掌中に收めたのである、アメリカ

……北方よりする日本空襲は不可能ではないが極めて困難である、而もこの方面に如何なる敵襲ありとしても海軍としてはびくともせぬ固い備へがある國民も國防軍の備へに相應しい自信ある心構へが必要と思ふ、大東亞戰爭開始以來皇軍は赫々たる戰果を擧げて來た、今後もいよいよこれまで以上の大戰果が擧げられることは必然である、諺にも「百里を行く者は九十里をもつて半とすべし」といふことがある、われわれはこの言葉を篤と銘記すべきである、いまやわが大海洋作戰は新なる火蓋を切り大東亞の全域よりアメリカ、イギリス勢力を驅逐し、われわれの大東亞がわれわれの手で日一日と具現されつゝある、われわれの實力はわれわれ自身がはつきり認識出來た筈である、唯恐るべきはこれによる慢心である、慢心を抑へ實力をいよいよ貯へて敵最後の息の根を止め、大和民族永遠の發展のために第一線、第二線の別なく國民一束となり足を大地につけて、最後の勝利に邁進したい

**要する**　……リッピンの空軍基地がどうなつたかを想起すれば思ひ半ばに過ぎるものがある

## 陸鷲コレヒドール連爆
### 凄絶、わが猛爆に大火災

【比島〇〇基地十日同盟】わが陸鷲の各部隊は九日午前十一時鵬翼を連ねてコレヒドール島を猛襲、敵の熾烈な地上砲火を潜つて〇〇キロの巨彈を一齊に各軍事施設に投じてこれを爆破炎上せしめ、さらに同日午後一時より二時までの間同島に反復爆撃を敢行、殘存敵軍事機關を爆碎した、炎上するコレヒドールの黑煙はマニラ灣頭に立ち籠めて凄慘なる光景を呈してゐる

**上海特電【十日發】**カンベラ來電によれば日本海軍爆撃機は三月廿六日七回に亘りコレヒドール要塞島を猛爆し混亂のコレヒドール島に巨彈の雨を浴びせたが、日本航空部隊のコレヒドール爆撃行は奮てなき凄絶さを極め、同島要塞は廿六日未明から深夜に至るまで間斷なく巨彈を浴びせられ、要塞各地に大火災を生じ廿七日朝に至るも同要塞は濛々たる火災に包まれた、難攻不落を誇つたコレヒドール要塞島の陷落もすでに目睫の間に迫りつゝある

## 敗走の敵大混亂

【比島〇〇基地十日同盟】わが陸鷲の偵察によれば、九日午後三時〇〇部隊の先頭部隊はバタアン南端の敵最大據點マリベレス市を指呼の間に望んで猛進撃を續行しつゝあり、同市街の北側地區は敗走する敵兵と車輛群で犇めき合ひ、一方わが猛爆によつて燃え盛るマリベレス飛行場に蝟集した敵は右往左往大混亂を呈してゐる

### ツリンコマリ

【東京電話】セイロン島の東岸にある人口約一萬印度洋特有の季節風を避けるやうに出來てゐる天然の要港であり、印度洋艦隊の根據地である、港内は狭小だが水深く一萬トン級艦船二、三を入るるに足る、シンガポール陷落後は英國最東端にある軍港となつて英……

### バタアン半島に大地震

印濠連絡防衞上の最重要點で、英國はここに海軍工廠、海軍司令部水陸飛行場各一ヶ所、砲臺（二〇サンチ）等があり、その他にも軍需品、石油の夥しい貯藏がある

【バタアン〇〇九日同盟】米比軍最後の日迫る九日午前零時四十五分突如戰火渦卷くバタアン半島の山野を搖がして大地震が起り東洋平和を攪亂する米軍に對する神の怒りかと思はれた、家屋が土煙を上げて毀れ落ち山は崩れ、約五分間にわたつて猛威をふるつたが、わが各部隊はこの天變地異をものかは寸時も攻撃の手を弛めず〇〇目指して猛進を續けてゐる

## 難攻不落に巨彈の雨

【比島〇〇基地九日同盟】今次バタアン作戰における飛行隊の活躍は世界空中戰史上に特筆さるべき壯絶なる戰闘記錄であつた、バタアン半島は房總半島よりやゝ大きな廣さだが山また山と重疊する山嶽、密林に包まれた上アメリカ軍が十數年の歲月と十數億の巨費を投じ近代科學の粹をこらして構築した防禦陣地で、難攻不落を誇り山ひだには見えざる砲壘を築き密林の中には三段構へのトーチカ陣地を構築し、群立する峻嶺の山頂には偽裝された高射砲の大陣地をめぐらすなど、起伏する一山四方が整備された要塞そのものであつた、陸鷲の群はある時は捩り取つた、かやうな險谷を低空飛行して敵陣を破壞するかと思ふと、一轉しては二、三千メートルの峻嶮の陣地を〇〇高度から爆撃するのだつたしかも地上は百度を超える炎熱だが上空は吹雪も舞ひさうな寒さと悪氣流を冒しての苦闘を續けた、かくて三月廿四日から四月二日まで海軍航空部隊とともにコレヒドールの要塞に集中攻撃が加へられた、殊に廿四日と卅日および四月一日の如きは〇〇〇機といふ大編隊でコレヒドール島西南部の敵兵陣地、北部のガソリンタンク、中央部の發電所および除染庫などに〇〇噸に及ぶ爆彈を叩き込んで壞滅、炎上、徹底的な大損害を與へ、さらに四月三日地上部隊の總攻撃に呼應しサマト山の敵砲門を爆碎したのを始めに、四日にはサイサン岬の砲台を沈黙せしめ五、六兩日は蹂躪する地上部隊の先導の敵陣地を亂撃し攻撃、七、八兩日は一轉してリマイ、カブカーベンおよびマリベレス軍公路を敗走する敵兵團ならびに軍輸車を捕捉殲滅するとゝもに、シシマン灣やマリベレス灣などに蝟集する軍用輸送船を海底に叩き込んだのであつた

## 疾風・リマイを拔く
### 陸海空一體の猛撃滅戰
バタアン作戰

【東京電話】わが軍はバタアン半島に袋の鼠と化した殘敵を他所に着々と南方に戰線を擴大、敵包圍據點を確實に撃碎、南方戰略態勢確立されるに及んでいよいよ比島の敵は池中の鯉と化するに至つた、この間比島方面陸軍部隊は着々と敵要衝を奪取しつゝその陣地を蠶食、一月廿一日南進部隊の一部をバガックに迂回せしめて半島唯一の東西連絡線の遮斷に成功した、しかして引續き二月初旬以降密林内の縱深陣地により戰果を擴大、舟艇機動部隊をもつてカナス岬方面に上陸を敢行、また東海岸部隊もこれに呼應當面の敵陣地を猛攻、陸軍航空部隊またその主力をもつて地上作戰に協力すれば海軍またバタアン半島進撃作戰に呼應、同方面およびコレヒドール要塞に對し連續大規模の爆撃を加へ多大の損害を與へたが、なほも剿滅を續行、戰況は豫期の如く進捗中三月十六日敵將マッカーサー逃亡、これに代つて少將ウエンライトその指揮をとるに至つたが、マッカーサー逃亡後極度に戰意を喪失するに至つた同方面殘存米比軍はキング少將のもとに狹隘なる自然の地の利を恃んでなほも執拗に抵抗を續けつゝあつた、かくてわが軍は强大極まりなき諸兵と近代兵器のなし得る限りの夥しき數を敵前面至近の地區に蝟集、突如去る三日神武天皇祭の佳き日を期して總攻撃に出で敵永久陣地に壯絶極まる撃滅戰が開始された、妖氣を孕む峻嶮たる千古の密林地帶も崩れんばかりのわが猛砲爆撃は激烈を極め、同日中にバガックとオリオン南方を結ぶ敵第一線を突破、第二日の四日は第二線を、五日午後零時四十分第三線たる標高五百八十六メートルのサマット山を陷れ六、七兩日アクロマ岬とリマイを結ぶ線に進出敵の本據マリベレスを目前に望んで猛攻を續行し八日午後四時四十五分敵が主力抵抗線と恃んだマリベレス、リマイ要塞線上の重要據點リマイ市を完全に占領するところとなつたが、わが軍はなほ猛攻撃を續行、いまや殘存敵軍の運命はきはまらんとしてゐる

**撃滅し**　世界新秩序を建設せんとするところに世界史的意義がある、一見すると獨伊は大西洋、地中海で日本は太平洋、印度洋で獨自の作戰を別々に開始してゐる樣に見えるが、その實樞軸國は米英打倒の雄大なる協同作戰の好資例を示してゐるのである、米英は南アメリカを經由しアジヤ方面、スエズ方面へ物資輸送を營みつつありイギリスはこれによつて印度、濠洲乃至は反樞軸國への救援の途としてゐたのである、それがいまやわが國と獨伊によつて殘路切斷されんとしてゐるのである、反樞軸國の受ける打撃が思ひやられる、つぎに北方に關して一言申上げたい、それはアラスカ、アリューシャン方面よりアメリカ空軍の日本來襲の可能性についてゞある、然し本問題はかかる作戰を實施するものの準備と訓練と精神力如何によるものである、彼等が對日攻勢のために準備してゐたハワイ、ミッドウエー、グアム、フィ

……カ海軍の新作戰部長キングはアメリカの現在の戰備をもつてしては攻勢作戰は不可能であると悲鳴をあげ、陸軍長官スチムソンも「西南太平洋方面へのアメリカ增援軍の派遣は容易でない」と本音を吐いてゐる　さらに翻つて見るに今や獨伊が着々と戰果をあげ戰勝が極めて好調にあることは帝國海軍としても絶對母しく欣快に堪へない、わが印度洋作戰の進展はいよいよ獨伊の作戰を援助することになるし、あるひは獨伊海軍の活躍によつて英艦隊ならびに輸送船が逐次撃沈の數を增すことになれば、わが海軍の作戰も益々有利となるのである、日獨伊が相携へて米英を

# 半島側の主張通り 朝鮮金融團を指名
## 金融統制團體に關する 勅令案實施決る

【東京特電】(十日發) 金融統制團體に關する勅令案は、目下中央において各關係廳間に協議中であるが、これが朝鮮との關聯については、水田財務局長が折衝の結果、九日同勅令案中の一部を削除して、朝鮮に公布實施されることに決定したがその概要は左記の通りである

同法による地方金融協議會に相當するものを朝鮮においても組織するが、その名稱の前同法に準據する統制團體となす

(2) 同法による業態別協議會、統制組合を設置せば朝鮮金融團一本立とす

(3) 從つて業態別協議會、統制組合に關する條項は朝鮮においては削除する

即ち朝鮮においては鮮銀、殖銀の二特殊銀行の外普通銀行、金融組合聯合會、貯蓄銀行、信託會社が朝鮮金融團に包括されてをり、同團によつて金融統制の實を擧げつゝあるので、殊更に現狀の改編を必要とせず只任意團體を法的團體に引直すこととなつた、同團の名稱についても一部には變更説があり、その他條項の削除についても勅令その儘を強制的に手心を加へることによつて、削除を必要とせずとの意見もあつたが、法制局側が半島を支持して全面的に朝鮮側の主張が容認されることとなつた

## 鮮銀券の膨脹 極力抑遏の方針堅持
### 水田局長歸任を前に語る

【東京特電】(十日發) 過般來東上中の水田財務局長は要務を了へ、十一日東京驛發で歸任することになつたが、同局長は左の如く語つた【寫眞＝水田局長】

◇……朝鮮銀行券の最高發行額は一億三千萬圓增の七億五千萬圓に擴張されたが、年末その他の季節的金融繁忙期には、それ以上に膨脹するとは已むを得ない勿論發行券の膨脹は極力避くべきで、財務局としてもその方針を以て對處する考である、貯蓄の奬勵については從來この目標額は各外地で決定し得ることとなつてゐたが、戰爭勃發後は積極的に貯蓄を行ふ意味から中央と十分に打合することとなつた

◇……目標額が幾億となるかは何んともいへないが、歸任後開かれる貯蓄奬勵委員會に諮る積りである、貯蓄奬勵の方法は內地に比し朝鮮が遙に具體的なことが內地側でも判つてくれたやうである

◇……官廳工事の前渡金制に關する勅令は四月中に公布される見込みだ、金融統制に關しては漸く昨九日關係當局との間に解決した

## 石炭統制同組 創立總會 きのふ擧行

…設諸組合の發展的解消によつて新な統合團體一組合として四月一日から發足した"朝鮮石炭統制同業組合"では十日午後二時から遞信…

…事業會館に創立總會を開催した 鈴木發起人會代表挨拶に次いで新組合長人見次郎氏、岡田企畫部長交々立つて炭界の商勞に伴ふ同業組合を飛躍した官民一…的新理念の認識を要請した挨拶あり、豫算案、賦課金等の諸議案を可決した、さらに左の評議員廿名を選出、明日總督府の認可を受けた

無煙＝六名＝▲朝鮮無煙炭▲朝鮮無煙炭礦▲鳳泉▲大東▲三陟開發▲鐘淵實業

有煙＝六名＝▲日本窒素▲朝鮮人石▲岩村礦業▲朝鮮有煙炭▲生氣嶺▲明治礦業

輸移入＝八名＝▲日滿商事▲三菱商事▲三井物產▲三菱礦業▲三國▲向井吉治▲越田市太郎▲佐治商店

【寫眞＝同創立總會】

### 新組合長に人見氏就任

四月一日設立命された朝鮮石炭統制同業組合組合長、安田宗次氏(燃料課長)は十日附辭任し人見次郎氏が正式就任した

## 部門別 專門委員會設置 南經懇談會積極的活動へ

南方經濟懇談會では、十日午後二時より朝商會議室に幹事會を開催田村常任幹事をはじめ各幹事出席本府企畫部長よりの諮問「南方に對する企業上の對策」に對する答申案および十五日開催する同懇談會總會の下打合せを行ひ、さらに…

## 和布・煎子に販賣統制 機關に魚組中央會指定

總督府では今回和布および煎子の販賣統制を實施することになり、これが統制機關として漁業組合中央會を指定した、よつて同中央會では十日午前十時より水產會館會議室に評議員會を開き右販賣統制實施に伴ふ十七年度事業計畫書に經費豫算變更(既定豫算額卅三萬圓を卅五萬三千圓に增額)および販賣統制實施に伴ふ起債增額及びその償還方法の件 煎子の委託販賣事業資金に充當するため年五分の金利で殖銀より四百萬圓を借入(償還方法は販賣代金回收金を充當)を附議原案通り可決した

## 增米へ/各道の構へ 全南(2) 道農會調査
### 防虫害對策完し 一路肥料の自給へ邁進

前述の如く道內各郡に犁の配給をして春耕並に秋耕の勵行を徹底させ次には肥料に關する事項を決定した

【肥料】冬季より早春にかけて堆肥、堆積場を修理整備して原材料の蒐集に努め、一齊に積込の奬勵を實施してこれが增加を確實にし金肥の不足を補ひ堆肥、厩肥の增產增施に格別の努力を拂つて、燐酸肥料不足の影響を除去させると共に、比較的燐酸を多量に包含する米糠、鷄糞等の蒐集に努めさせる方策を樹ててこれを實施する外、本畓基肥の速效肥料は水溶性なるため、水の多き場合綻養分の損失甚大なるを以つて、原則として、極力灌漑水の渺なき場所に堆肥し內層部土壌と充分混和する樣努め、出來得れば灌水前耕耡の際に施肥させ…

【病虫害の防除】…

### 種子更新事業の整備強化

## 血で綴るマレー戰記 作戰主任參謀談話 (4)

夜になるに及んで廣告の仕掛花火のやうに砲彈の炸裂が綺麗に夜空に映えて盛觀である、そこで八日夜十二時を期しわが砲は一齊火を吐いて猛擊を浴せる敵砲兵陣地からも間斷なく應戰してくるが、この位愉快な戰ひはない、山下軍司令官はジョホール橋の一角、非常に見晴しのよい王樣の宮殿に軍司令部を据ゑて麾下全軍の戰鬪を親しくみることにした、軍司令官はいままでゴム林やジャングルの中で兵と行動をともにして來たのであるが、いまは世界的攻略戰の指揮をとるに相應しくこの見晴しのよい王宮に司令部を置くことにしたのである

### 愈よ上陸を敢行

そして各部隊本部には早速この話を傳へて士氣を鼓舞した、さていよいよ八日の夜十時豫定通り〇〇〇兵團は上陸を敢行することゝなつた、青い信號彈が〇〇、〇〇兵團、赤い信號彈が〇〇、〇〇兵團の上陸成功を傳へる、このとき俄然東北方にあたつて砲聲が與隊に轟く、敵砲兵陣地が猛烈な反擊をしてゐるのだ、各部隊とも九日十日と敵の最も堅固な陣地をつぎつぎと突破し、脇目もふらず敵陣に殺到しつひにテンガー飛行場奪取に成功したので軍司令部もまた水道を渡過し同飛行場に進出したこれより少し前のことである、私は牟田口閣下の陣地へ自動車で敵彈を浴びながら着いた、すると牟田口閣下は左肩を押へて臥れる閣下は兵隊服を着てをられたが、どうもたいした事でもないやうだ、で『どうされましたか』と聞くと手で『これをやられた』といつたまま戰況の話をしてをられた、暫くすると參謀の井野參謀が見えないので聞くと『重傷を受けた』といはれる『何んでやられました』と問ふと『手榴彈で』といはれた、私は參謀が手榴彈で重傷、兵團長が戰傷と聞いて非常な激戰だつたといふことを感じた

### ブキテマ高地の戰鬪

敵主要陣地の根幹をなす高地の奪取は最も難戰であつた、〇〇兵團も相當激烈な戰鬪を續け、敵はわが軍のあまりの急追に據點を破壞する遑もないほど慌てゝ逃げ出した、わが軍の損害も極めて多い、しかし軍の決心は同夜斷乎夜襲をもつて敵陣地を粉碎、十一日の紀元の佳節をもつてブキテマ高地を占領する方針を傳へた、實際した牟田口部隊長はあくまで突擊するといつて直ちに突擊命令を下達された、一方〇〇、〇〇兵團および〇〇、〇〇兵團は十日夜敵主陣地を突破し、非常な決心によつてブキテマ奪取の成果が擧がつたのである、かくて十一日の朝飛行機で敵軍司令官パーシバルに對し降伏勸告狀をばら撒いたが、夕方になつても返事がない、そこで兵を增加し猛擊を加へ戰況は今までにない激烈さを加へた

十二日敵を豫定の陣地、十五日に給度〇〇重砲が戰場に到着したので、總攻擊を開始し、シンガポール市內の建物は全部軍事施設と看做して巨彈の猛雨を浴びせた、多過ぎたといはれた砲彈もジョホールバール渡過前にすでに四百發を、ブキテマではさらに四百發を使ひ、殘りは二百發位になつた、十五日朝牟田口兵團は午前十時を期しシンガポール正面の要塞ゲツベル兵營に向けて突擊するといふ報告があり、朝早く第一線に出てみた、中隊長と話をしてゐるところを敵の集中射擊をうけたが、この時ばかりは鐵兜が欲しいと感じた、砲彈の炸裂があまり身近で息も出來ない、僅で十メートル先が判らない、その間午前十時を期して突擊が始まり正午になつても午後三時になつても集中射擊と砲擊が間斷なく續いて戰鬪はいよいよ激烈を極める

### 神に近い姿

その最中一人の兵が敵彈に當つてたちどころに斃れる、隣らにゐた一人の兵が彈雨のなかを五六十メートルもそれを運んで土を掘り一人の戰友を埋めてゐる、息づまる戰場の眞つ只中にあつて悠々かはるゝ水筒の水を浴びせてなにかいつてゐる『惜いぞ』といつても…

…謀が思ひ止まらせようとしてもどうしても聞き容れない、私に『今出られるのは適當でない』と申上げてくれといふので『ただ今戰況はあまりに集中射擊がひどいので薄暮を利用してやるやうに事を指導に來ました、しかもこの戰鬪中に突如兵團長が出られては部下部隊長は皆戰に來たものと思つて除計に突進して不必要な損害を出すこれは適當でありませんからお出でになるのはあす朝にしてもらひたい』と私が申上げた、兵團長は頭さへ振へ『敵の部下に俺が前線に來たのを意識に來たのだと思ふ…

…それが聞えないのか、如何に砲擊…水臭いものは一人もゐない、今夜部下はあの敵の最後の主陣地に突擊するのだらうからせめて自分が部下の戰死する前に手を握つて別れたいと思ふからだ、諒解せんでくれ』といはれた、部下の戰死する前に手を握つて勵ましてやりたい、その氣持、實に日本武士道の華と感じた『兵團長閣下がそのお氣持ならば强ひて申上げることはありません、ただ現狀の通りですから今暫く猶豫を』とお願ひして第一線から歸ると電話で敵降伏せりといふ報告が出たのである

### 兵團長第一線へ

話は戾るが〇〇、〇〇兵團の正面の渡過の折である、非常に砲彈が飛んで來てゐたが渡過に當り、山本といふ〇〇聯隊一等兵は船三隻を繋いで敵前渡過の兵を渡してゐた、折から敵彈が當つて肋骨が飛び出す重傷を身にうけながら平氣で船を誘導し敵前に上陸せしめるとがつくりしたので班長がしつかりしろと元氣づけて怒鳴ると船べりに身を起して『日本軍勝つて下さい、班長殿御世話になりました』といつてその一等兵は靜かに瞑目する、かういふ狀況は今次の戰爭を通じて數々あつた

### 見事敵の裏をかく

要するに敵はその第九、第十一師團をもつてなるべく早くわが前進を阻止し、濠洲からの增援部隊の來着を待ちジョホール、シンガポールの保持を企圖したのであつて從つて濠洲部隊を迎へて戰力を挽回せんと猛烈な抵抗を試み、わが主攻擊をセレター軍港より東方地區に豫期し、防禦の重點を東方地區におくとともに、陸橋以西よりの攻擊に對してはクランジユロン河の線で阻止せんとし、わが攻擊の進展に伴つて敵はシンガポール東北側地區より貯水池、競馬場の各東側附近を經てパアシールパンジャンの線により最後の抵抗をしたものであり、兵力において優勢な增援を得たものの作戰の裏をかゝれ漸次縮包圍の態勢を取られ、逆襲をも叶はず十五日遂にわれに〇倍する兵力を擁しながら手をあげてしまひ、わが軍は將官以下卅名、英人俘虜五萬、濠人四萬五千といふ今までにない俘虜を捕へたのである

シンガポール占領は二月十一日を多少遲れたが俘虜に對して敵が一體何ケ月で陷ると見てゐたかと聞いて見ると『月でなく年の問題だ』といふダンケルクのやうな運命には決してならないと信じてゐたやうである、セレター軍港には婦女子が約二千、チャンギーの監獄には日本の婦女子が監禁され各國の婦女子もをつたが、彼らは英人にはベッド洗面具を與へてゐるのに、東洋人はコンクリートの十間の獨房のやうなところに入れてあつたので總督にこのことを詰問した『日本の外交官を何故に一こんなところに入れたか』といふと『保護するためだ』といふ…

### 常識外れ戰法

さてマレー作戰に關しては大體以上の通りであるが、結局作戰的にこれを考察すれば上陸以來常識を外れた戰法無茶苦茶な戰法をとつた作戰第一主義をとられ、また加ふるに機械部隊を集中して直ぐ飛行機は勿論戰車はもつとも優秀な〇〇兵器であり、陸海空の戰鬪力がシンガポール攻略に集中されたことは成功の原因であつた…

…日英米人は…ないかといふ感じがある、次に來るべきものはなにか、戰果に驕らずこれを確保し國力を涵養して長期戰に備ふるといふのが要點ではないかと考へる次第である (終)

# 「戰死前に握手を」 全軍哭く"一線の兵團長"

## 立候補屆出

## 滿鐵、北海道農法を導入 傳習生を派遣

## 郵船社長に寺井氏を決定

## 北支開發昭和電工社債發行

## 生擴資金供給と國債消化に重點 簡保積立金運用計畫成る

## 第三回日滿支交通懇談會 六月二、三日開催

## 體育 扶餘、朝鮮神宮間驛傳競走大會 廿七日から三日間擧行

## 朝鮮體育振興會 排球聞役員會

# 逞しき銃後建設へ "榮養"の掩護射撃

## 榮養相談所 京城で店開き

不足勝ちな食糧品を限られた範圍内で榮養効果を擧げるにはどうすればよいか、國民保健は先づ榮養からといふので、京畿道衞生課衞生相談所ではこんど新しい試みとして全鮮で初めての榮養相談をはじめることになり來週から店開きをする、この榮養相談は乳幼兒の榮養、一般家庭の榮養、妊娠時とかまた特に注意を要する病人の食餌(腎臓、結核、糖尿など)の相談に應じ手輕に、しかも親切に手引をしようといふので、指導者には上田フサ女史が當り道衞生前の京畿道衞生相談所内で毎週月水金の三日間を相談日とし、木曜日には榮養講習會を開くことになつてゐるが、一般の利用を望んでゐる

### 決戰下に一役! 指導者上田さんの念願

京畿道衞生課新設の榮養相談所上田フサさん(三〇)は昭和六年女子大數學部を出て東京の榮養研究所榮養學部に進んだ人、十日榮養報國の抱負を語つた

私は體が弱かつたため自然榮養に親しむ樣になりましたが、榮の成分は榮養學ですし、藥より毎日食べる食品を合理的に攝取した方が効果的なのではないかと自然榮養學に興味を持つやうになりました、日本では武士は喰はねど高楊枝と云つて食品を等閑視し過ぎてゐましたが決戰下家庭の主婦の方に榮養知識をもつと知つて頂くために始めた相談所ですから遠慮なくどしくく利用して頂きたいと思ひます

【寫眞=抱負を語る上田さん】

# 身も心も國に捧げて

# 九軍神を育む愛情 母の力こそ尊く強し

### 常會へ 南夫人放送

南總督夫人は十日午後八時から十分間、京城中央放送局のマイクを通じ愛國班常會へ"身も心も國に捧げて"と題し夫人の聲を電波に乘せて全鮮津々浦々に傳へた、皇國女性の眞の姿それは謙虚な母の姿であると身も心も御國に捧げた眞の皇國女性がある限り日本は強いのですと、大東亞建設の一翼を大きく荷負ふ皇國女性の進路を生々しい實例をもつて朝鮮二千四百萬愛國班員に呼びかけるのであつた

四月の愛國班常會が和氣靄々の裡にも溢れる銃後の熱意を籠めて各班毎に行はれてゐる十日の午後八時、全鮮の愛國班常會に向けて大日本婦人會朝鮮本部長南景久子總督夫人の静かな聲がラジオから流れ出た

『今晩は皆樣、和やかな常會のお集りをしていらつしやることゝ存じます、私も今晩は皆樣の常會に列席させて頂いてゐる氣持で近頃感じましたとの一つ二つを申上げてみたいと存じます』

この日京城中央放送局第一放送室に立つた總督夫人はさながら人と對坐する如く心持頭を下げた儘の姿勢で物靜かに語るのであつた

『あのハワイ眞珠灣に玉と碎けて潔く散つた九人の勇士をお生みになり、軍神と讃へられるまでに育て上げられたお母樣達、その豐かな母性愛と祖國に對する敬虔な情熱この身も心も御國に捧げ盡した母の誠がわが子を通して現れたものと私は固く信じます』

全鮮の母の心を優しく動いてしめやかな夫人の聲音は九千人の母を讃へ轉じて日本婦道を說いて更に續いた

『女の力は直接東亞共榮圏の建設に強く影響致します、この戰爭を勝ち拔くために皆樣はほんとに強い母となつて子を育て身も心も御國に捧げる覺悟で銃後をお護り下さいますやうお願ひ致します』

約十分間電波を通して全鮮の婦人に皇國女性の誇りと道を說つた總督夫人は同八時十分官邸に歸つた

【寫眞=放送中の南總督夫人】

# 午前八時・奉祝時間 大東亞戰下 初の天長節

御稜威の光の下、皇紀連綿として迎へ奉る天長の佳節は、大東亞戰下に謹ぎ奉る第一回天長節の佳節であり、地軸を搖がして打ちつゞく神國の大捷報に感激ひとしほ深いものがあるが、この佳き日に當り半島二千四百萬赤子の至誠の赤心をいよいく昂揚し、征戰完遂の決意をますく固めるため國民總力朝鮮聯盟では當日次のごとき奉祝行事を行ひ聖壽の萬歲を謹ぎ奉ることゝなつた

一、國民奉祝の時間設定 午前八時を國民奉祝の時間と し各家庭、汽車、電車、乘合自動車、船舶その他集合の場所毎に汽笛、號笛、鐘等にてそれぐ宮城遙拜を行ふこと

二、拜賀式または祝賀式 官公衙、學校、銀行、會社、工場等においては午前中拜賀式または祝賀式を行ふこと

三、祭典 神社においては代表者適宜參列午前八時半天長節祭を執行すること

四、神社參拜 一般官民適當の時刻に神社に參拜して聖壽の無窮を祈り奉り併せて征戰完遂の祈願を行ふこと

五、國旗揭揚 一般に國旗を揭揚すること

# 東亞據點・新生の素描 【一】

# 贅澤品犯罪は一掃 築く明るい街 食料品も自給自足だ

【マニラ八日同盟】マニラはいよいよ本格的炎熱期に入つて日中の氣溫は大體九十六度前後、入城以來四ケ月間不眠不休で大マニラ市の新秩序建設に努力してゐる皇軍將兵の汗によつてマニラ市の治安は殆ど回復して炎熱のもと鬱々として市民は生活にいそしんでゐる日本を盟主とする大東亞民族の解放が完成されて近づく今年の復活祭は比島民の復活を象徴する儀式として特に感慨深いものがあり、五日、日曜の夜嚴かな鐘の音とともに市民はいよいよ新生の決意を固くしたやうだ、舊殼を脱してバルガス長官は例年ならば復活祭前後一週間の休暇をとるところ今年はマラカニアンの行政府に止つて政務に追はれるといふ有樣、なにもかも甦生の比島は見違へるほど舊體制を脱して來て甦生の生活に贅澤は禁物とバルガス長官がマニラ空前の奢侈品税を實施したのは今月一日、指定された商品には正札に税額がつけられた

ショウインドウを覗いて見ると寶石には卅五パーセント、樂器卅八パーセント、レコード卅パーセント、蓄音器卅パーセント、香水卅五パーセント、トランプ卅パーセントといつた工合になかなか手嚴しい

しかし生活必需品には免税額が設けられてゐるので高級のものは飛角一般の需要にはなんの影響もない、從つて市民も新税で面喰ふのは稀だ、食料品も次第に出廻りがよくなつて來た、從來米國から輸入してゐた贅澤な食料品は日とともに市場から姿を消し、比島民自からの手によつて生産される食料品が急速に要求されてゐる、一例をあげると戰前米國から買込んでゐたミルクも輸入の杜絶とゝもに市民の生活に影響を及ぼして來たが、政府ではコ、ナッツからミルク代用品を製造することゝなりすでに研究を終つて大量生産に着手することになつた

また比島民の常食である白米も配給の圓滑を期するため近く切符制が實施されることになつた一方において政府當局は白米の增産をはかるべくルソン平野の灌漑施設を完備するなど食糧增産による自給自足經濟の建設に大きな努力が拂はれてゐる、比島經濟再建とゝもに市民自體の生活は戰前と較べものにならぬほど眞劍味を加へ、市民の步き方まで變つて來たといはれる位だ

例へば犯罪狀況について見るところの四ケ月間に日本軍當局とマニラ警察の緊密な協力によつて犯罪數は著るしく減少した、昨年三月におけるマニラ地方の犯罪件數は四百五十件であつたが、皇軍の入城した本年三月の件數はこれに比して遙かに減少してゐる、犯罪の種類は窃盗、賭博が主なるもので殺人、阿片吸飮は稀少に過ぎない、このやうに犯罪減少の傾向を辿りつゝあるのは、當局の協力によるところ多いが、一方において比島市民が新生比島の出發をよく認識して大いに自重してゐる現れと見るべきだらう、これと同時に在留華僑も新秩序建設の線に沿うて協力し、戰前犯罪の巣窟といはれた一部支那人町も平和を保つてゐる、戰爭に伴ふ失業問題については當局も種々對策を講じ中央職業紹介所の設定、マニラ在住の地方民および學生などの歸郷獎勵など、積極的方法をとつてゐるがこの問題も經濟秩序の回復による商業の活況に應じ漸次解決の途を見出すものと見られる

【寫眞=新生マニラの中心街】

# 完全に無血上陸! 手を振る勇士

## クリスマス島 空の一番乘り

【〇〇基地にて十日海山海軍報道班員發】ジャバ島の南、印度洋上にぽつかり浮かぶ燐礦の寶庫クリスマス島はまるで南海の鬼ケ島だ、切り立つたやうな絶壁でその周圍を圍まれ、鬱蒼たる密林は沿岸からすぐはじまつて全島を蔽ひつくしてゐる、シンガポール政廳が經營するクリスマス島燐礦會社の存在がなければこの島は恐らく無人島として殘つてゐたのだらう、一日記者は〇〇飛行隊のK中尉の操縦する一機に搭乘して同島に飛んだジャバ上空の密雲層を突きぬけ印度洋の積亂雲をくゞつて南〇〇時間、機は間もなくクリスマス島の上空に達した、島は恰度英語のTの字の恰好で濃綠色に映える南海の只中に横つてゐる、わが軍上陸直後とも思はれぬ靜けさだ、一千メートル、五百メートル、高度を下げるにつれてわが上陸地點フライング・フイシユなどの全貌がはつきりしてくる、島の南方絶壁にもたれかゝるやうにして船體を眞二つに割られた敵貨物船の姿がみえる、船尾はすつかり船首から離れ半ば海中に沈んでゐる、三千トン位はあらうか、大中小三本煙突の大きな方に横付けになつて黑々と煙を吐き出してゐるのはわが輸送船だ、その沖合に〇〇隻の輸送船、そしてさらにその外廓を〇〇隻の軍艦が白波を蹴つて航行してゐる、敵の逆襲を警戒してゐるのであらう、機體から海岸にそうて十數棟の倉庫が眞白な瓦の屋根を並べ、さらにその西に連らなつて同じやうな白屋根の住宅がぽつりぽつりと見える、町らしい町もないが、このわづかな人家からも、この戰爭をかきわけてでもしたやうに日の丸の旗が、一、二、三、四、五、いや六つ、六つ……

大きいに違ひない、旋回を續けてゐた機はやがて一隻の輸送船の近くへすると着水した、舷手と輸送船の船上で手旗信號がはじまる『〇〇〇守備は明日中に完了の豫定』信號を讀取ると機は直に白波を蹴たてゝ離水に移つた、『上陸も成功、爾後の工作も順調のやうです』操縦桿に手をかけながらK中尉が嬉しさうに語る、西端にある島でたつた一つの砲台にも軍艦旗が飜へつてゐる

かつてわが軍から砲撃を受けるや僅か二發應射しただけで白旗を揭げたといふ由緒ある砲台である

軌道の狹い鐵道が島を南北に貫ぎその南端が燐礦の採掘場だ、器材がひつくり返り散亂し敵が狼狽して逃げ去つた跡が機上からもはつきりと讀取ることが出來る、南の寶庫はいまや完全にわが手に歸したのである

# 譽れの百卅名 靖國神社臨時大祭 朝鮮から遺族部隊

大東亞戰下、輝くも護國の神と仰がれ英靈として〻に鎭まる靖國神社春季臨時大祭は來る廿三日の招魂祭に引續き廿四日から三日間盛大嚴肅に執行、これが準備は着々と進みつゝあるが、晴れて參列する朝鮮在住遺族も英靈一柱に對し一名列許可されることゝなり、譽れの百卅名の遺族は總督府社會課職員引率のもとに特別列車で廿日京城驛を出發することになつた、一行は廿二日朝品川着、東京在留九日間のうちになつかしのわが英靈に社頭對面をなして五月一日東京發三日午後京城へ歸る

# 幼き魂に注込む 戰ふ祖國の感激! 聖地參拜團 二十三日出發

本社が主催するこの全鮮學童代表聖地參拜團は、百六十萬學童のうちから、各道一名づつ、京城府から二名、合計二十九名の六年生優秀兒童と、團長、副團長、顧問各一名を朝鮮教育會の銓衡で選び、約半月の日數をもつて來る四月二十三日午後一時五十分京城驛發伊勢皇大神宮、宮城をはじめ畝傍の大和の橿原神宮、名古屋の熱田神宮、東京の明治神宮、靖國神社、京都の伏見、桃山御陵等の聖地を巡拜するほか、大阪、京都、奈良、東京の日本文化の樞々相を見學、とくに東京では天長節觀兵式を拜觀、首相、海相、拓相を訪問する豫定である、さらに去年の日程にはなかつた埼玉縣下の高麗神社を參拜、歷史が語る内鮮一體の血と魂のつながりを兒童の胸に注ぎ込み、歸路出雲大社に參拜し、神代の文化を今日のこす神さびたその社殿に太古の遺風を見、日本海を間に出雲と朝鮮半島とを往來した建國創業の神々の偉業を偲び五月六日午後五時二十分京城に歸る豫定である、瞬の旅行に參加する參拜團の構成者、兒童は、朝鮮教育會の手を經て次の通りに決定、さくら吹雪におくられて壯途につく日を今から待ちわびてゐる

◇團長 河津大馬國民學校長馬場忠一 ◇副團長 黃海道視學 花田龍弘 ◇顧問 朝鮮教育會佐々木力三郎 ◇代表 京城代表清溪校國城敏司、同蓬萊校木下義雄、同梅洞校閔秀敏、京畿代表開城元町校金澤基炯、同纛川中央校松原海武、忠南代表禮岐郡非南校清水泰中、同天安郡歡城校大山高德、忠北代表京川郡堤川昭和校海水根學、同陰城郡梁峰校金城秀官、慶北代表安東西部校金城相鉉、同尚州西町校國本弘、慶南代表釜山大和校金本潤經、同釜山綠校鳥川陽吉、全北代表全州相校生茂山秀衡、同裡里日出校三井盛中、全南代表光陽西校德山富久、同麗水邑西町校金谷重一、黃海代表海州旭町校白川東煥、同黃州明德校紙山泰雄、江原代表春川南校夏山甚煥、同通川南校松本圭一、平北代表博川台峰校元川喜弘、同寧邊鐵山校池山富萬、平南代表寧遠永興校良岡永一、同龍岡玉琳校大山剛生、咸北代表吉州吉城校岩村仁寬、同茂山城川校善竹炳洪、咸南代表洪原前津校松原珪雅、同高原西校梢川敦熙 ◇本社側 小國民新聞記者山下靜山、事業部員杉川吉郎

### 金剛山久米山莊で旅館券を發賣

金剛山の久米山莊はこれまで豫約しなければ泊れない所と一般から敬遠されてゐたが鐵道局ではこの弊を一掃するため五月一日から旅館券を發賣、これを持參すれば何時でも泊れることになつた、旅館券は東亞旅行社で發賣する

### 鮮鐵博多案内所開所

鮮内では内地より朝鮮向け荷物の運賃、連絡乘車券の發賣など朝鮮旅行に關する案内のため福岡市上與服町第一徵兵館に朝鮮鐵道案内所を設置十日鮮鐵側から田邊運輸課長らが出席、地元有力者百餘名を招待して開所式を擧行、式後博多ホテルで披露座談會を行つた、同案内所は東京、大阪、下關の三案内所に次で設置されたもので主任は現下關案内所の井上氏、下關案内所には江界鐵道事務所運輸課長吉岡浦ノ前氏が就任した

# 建川大使招待晩餐會

長途の旅にいさゝかの疲れも見せず十日午前十一時五十分着"のぞみ"で京城に途中下車した建川前駐ソ大使一行は一先づ朝鮮ホテルに入つたが少憩のゝち午後一時から龍山官邸の板垣軍司令官招待午餐會に、同六時から景武臺官邸の南總督招待晩餐會に臨み、盛んな歡待と慰勞の辭を受け、十一日午前零時十分京城發"ひかり"で官民多數の見送り裡に一路東京に向つた【寫眞=總督官邸の晩餐會】

# 電波を取締る

遞信局では特高ドスパイの跳梁跋扈に備へ府令第百二十一號をもつて無線通信機器取締規則を制定し來る五月一日から實施することとなつたが同局では左の諸點をあげて一般ラジオ販賣業者の協力を要望してゐる

一、ラジオ販賣業を營む者は營業開始後十日以内に規定事項を遞信局長に屆出ること、現に營業を營んでゐる者は規則實施の日より十日以内に屆出ればよい

二、中波放送受信機(五五〇キロサイクルから一五〇〇キロサイクルの範圍内で受信し得るもの)卽ちラジオ受信機以外の送信機又は受信機を販賣、貸與又は輸移入するときは許可又は相當の手續が必要である

三、規則違反者は二百圓以下の罰金又は科料に處せられる

# 一錢で五百枚

京城府番大方町京城公立工業學校機械科第一學年木村末雄君は國民學校當時毎日一錢銅貨を貯蓄した五百枚をこんど前記工業學校入學記念として國防獻金するため受持教諭久保天治先生と一緒に十日本社を訪れ寄託した

# 電線の闇

京城西大門署經濟係では十日府内竹添町三ノ五一三山本電機工務所主山本逸南(三〇)外四名の電氣材料商を統制令違反で摘發したが、山本は昨年八月十日から全南木浦邑平町八鶴林良一郎さんに電燈用の電線(單線)を公定價百米單價十一圓八十四錢のものを一割高の廿三圓六十八錢の割で三百米を販賣、合計七十圓廿錢の不正利得をしてゐたもので他の四名も公價の二割から三割高で電力電線の闇取引をやつてゐたことが發覺近く送局される

# 學生の臨時徵兵檢査は十二日から

京城兵事區管內の大學專門學校生に對する十七年度臨時徵兵檢査は愈よ十二日から十六日まで五日間長谷川町公會堂で毎日午前七時半から行はれるが、當局では該當者へ示された時刻に必ず出頭するやうにと注意をしてゐる

# 齒科醫師第一部試驗合格者

吳堯湖、森長三、東原保光、張原碩雄、重光宏則、水ノ江定、松原憲一、坂山泰齊、今村久郎、水野昌芳、松田勝晧、太田勝雄、館野良明、大竹海元、石原正一、赤坂生明 以上

### 特題料

☆……【中部戰線十日同盟】米比軍を討伐して比島〇〇戰線に數百數千の水牛の群が物凄い勢ひでかけて行く、これは敗走した米軍が附近の村々を悉く焼夷彈で燒き拂つたため飼主を失つて戰場を彷徨しつゝあるものだ

☆……泥だらけの巨軀を探合ひながら軍公路を横切る時は流石のわが戰車もトラックも暫く停車せねばならぬ有樣だ

☆……そのうち遙か前方に大爆音とともに二、三、四頭、あるひは五六頭がゴムマリのやうに中天高く吹き上げられ巨軀を寸斷されて憐れな最期を遂げた、無心な水牛群が米比軍の埋めた地雷を踏み皇軍將兵の身代りとなつて生命を落したのである

# 京城版

## 思へ前線の勞苦

### 感激胸を衝く"陣中便り"に　心盡しの慰問品集め

### 江南に揚る軍國佳話

（前略）此處で倒れては殘念、せめてワシントンに突入して盟つてくく斃ちまくるまではどうしても頑張る覺悟ですこの頃は諸物資が窮屈になり銃後の皆樣もお困りの事と思ひます、私等軍隊の者ですら皆配給で煙草は月二十本入りが四袋、石鹸か菓子などは數ケ月以來一回に配給されないので若い兵卒や年とつた酒好きな兵隊たちは弱つてゐます、然し誰れ一人不足をいふ者はをりません、これでこそ世界を驚かせる輝しい戰果をあげ得るのであると思ふとき年少で人の上に立つた私の心から皆んなに感謝すると共に一層勇氣づけられております、必ず銃後の皆樣の御期待に副ふ覺悟で御座います（後略）

郷土の出征勇士伊山兵曹長の陣中便りを見入つた大塚永登浦町總代は忽ち眼頭に露を宿らして前線勇士にこれ程の困苦をさせては誠に相濟まぬことだと強く心を痛めた、そして八日の大詔奉戴日の常會にこのことを感涙に咽びながら二千愛國班員に告げ『皆さん今日の禁煙煙草を初め、菓子類や慰問文などをどつさり送つて大いに犒はうではありませんか』と呼びかけ、これを今月の申合せ事項として各班員の慰問品は區長、班長がそれぐ取纏めることになつたが、各愛國班員は大塚總代から讀み聞かされた伊山兵曹長の手紙の文句に痛く胸を衝かれ、色々思案を練つた末各々心盡しの慰問品を出すべく目下大童となつてゐる

### 獻金の花束

本町署へ　九日本町署へ寄託された國防獻金は次の通り

六十圓、本町四ノ四六横田元近代▲卅圓、旭本町七五岩瀬佐一氏▲卅圓、本町四ノ一四金澤正吉氏▲十四圓六十七錢、本町四ノ一千八常連氏▲十三圓（一錢銅貨千三百枚）▲黄金町一八ノ四三吉州和男君（東大門國民校五年）▲十三圓六十五錢、古市町一二新島正幸氏▲十圓五十錢櫻井町一ノ一〇二島本アキエさん▲十圓、櫻井町二ノ一〇七大野花子さん▲二圓八十七錢、櫻井町一ノ九八原百十三氏

### 國防獻金を本社に寄託

黄金町四ノ三一〇田口賀義氏は京春鐵道東村機關分區主任技手として昭和十六年十月以來"國際式石炭ガス發生爐"完成に盡した功績を認められこのほど社長から表彰狀と共に金一封を贈與されたが十日本社を訪問し金一封をそのまゝ國防獻金として獻納方寄託した

## "産業戰士"の龜鑑

### 母の死を顧みず職場を守る

『母親の死』に直面した、職場を抛棄しては第一線の將兵に相濟まぬ』と老母の死を胸に固く秘めて職場を守つた銃後半島のたくましき産業戰士がある

府內本町一ノ二二い二宜壽鎭さんは京城紙工會社に勤めながら一家の大黒柱として稼ぐ孝行者であるが、約一ケ月前から母親李さんが發熱が因で四月に入つてからは次第に枕も上らなくなつた、それでも宜壽さんは長男の身とて一日も缺かさず出勤して職場に職域奉公に勵み、歸つてからは病床の母の看護を怠らなかつた、八日になつて母の病は愈よ篤を告げ、職場で"母危篤"との悲報に接し同僚から歸宅を勸められたが責任感の強い同氏は頑として聞き入れず

『私事のために公務をないがしろにしてはならぬ』

と滅私奉公の信條の下に最後まで職場を守り通し責任を果して我が家に馳せ歸つたが、悲しくも母は既に不歸の客となつてゐた、翌朝同氏は死後の措置を顧みず萬事を家人に託して再び職場に歸つて銃後國民としての義務を果したのが忽ち世の麗しい話題となり『これこそ職域戰線の龜鑑である』と感激を呼んでゐる

### 在永華僑の國語講習會　十六日から開講

東亞共榮圏の盟主日本の國語を早く習得するように——永登浦華僑親睦會の熱望に林京城總領事が國語講習會開設はその後諸般の準備成り愈よ十五日午後一時から華僑親睦會事務所で林總領事を初め多數來賓參席の下に盛大な開講式を擧行、十六日から每日午後七時から九時まで二時間づゝ在永華僑中の國語未解者全部を收容して開講することになつた

## 都會のオアシス

### 街の慰問袋

『都會のオアシス』といふ言葉がぴつたり當篏るのが三越屋上の『お稻荷さん』……衆山の樹々の葉陰にこじんまり鎭座在します稻社の存在にフッと鄕愁を覺えるんです、幼き日の想ひ出は稻荷社の前に集つて睦びあひ興じあつた幼稚の遊び姿です、この節なればこそ郷土色といふものに心惹かれる

九日ほどの三越三渓稻荷社の例祭、立札には京は伏見三渓稻荷大神、御神體は佐田彥大神、宇迦之御魂大神、大宮能賣大神とある

賑々しいともあらたかなり…で、この日の祭禮も大賑はひ【寫眞＝三越三渓稻荷の賑ひ】

## 火事場でお手柄

### モンペ部隊にまた凱歌

去る七日京城崇渠町一ノ一五四李季童さん方から燃え出した火事を男も顏負けの大活躍をなし見事消し止めてたくましき銃後婦人＝意氣を示した同町第四、五愛國班モンペ部隊の行動はその後各方面から絶讃の拍手をもつて迎へられたが、今度は府內漢江通一丁目愛國班第三區第十七班のモンペ部隊が"私達だつて大和オミナですわ"とばかりまたもや天晴れ僅か天井と障子を焼いたのみで鎭火させたといふ勝區下に頼母しい隣組篇——

八日午後一時ごろ府內漢江通一丁目愛國班第三區第十七班の班員達が折柄の防空演習にモンペ姿と待機の最中『火事だ』の一聲に一瞬緊張した班員達の耳にしたものは同町一ノ七岡本健吉さん方の家がメラくと燃ゆる紅蓮の焔だつた、演習に腕を撫してゐたモンペ部隊は日頃の訓練を示すのはこの時とばかり"バケツだ"と勇敢にも燃え盛る岡本さんの家に挺身しての大活動、慌てず騷がず完全な統制を保ちながらの消火作業に警防團員が駈けつけた時は大事になるかと思はれた火事も僅か十五分で見事に鎭火銃後は私達

## 謝禮金を献金

大金拾つた海田さん

既報＝九日朝府內元町一丁目一〇〇先で鮮銀から現金一千二百圓を引き出しての歸途、何時の間にか姿を消した會社の金に蒼くなつて龍山署に駈込んだ府內岡崎町早川商事タイピスト宮田順姫さん（二〇）の大金紛失事件後日譚——

ハンドバックの口からパラくと飛び出した千二百圓中千百圓は運よく正直な府內元町一丁目丸八商事店員海田正義（三〇）さんの手に拾はれ落し主に返つたが、會社側では大いに喜び十日朝そのお禮にと海田さんに金五十五圓を贈つたものだ、一度は固辭した海田さんも是非納めて欲しいとの申出でに貰ひ受けた五十五圓は私すべきでないと、早速その足で龍山署を訪問金四十圓を國防獻金として寄託し係官をすつかり感激させたが、殘つた十五圓は丸八商事の同僚と共に有意義に使ふこととなつた

## 府政メモ

◇洋紙配給協議會＝十日午後四時から府會議室で京城洋紙配給統制協議會定期總會を開催、紙袋、紙函、印刷、文房具、朝鮮紙物の各加盟組合役員四十名參集の上前年度決算及び十七年度豫算に關し打合せた

## 京城春競馬　四日目の成績

◇第一競馬ア系新抽　ウミワシ、ホシゼン、ホシアキ、タマガワ○ヒノマル、セウジユン、クロヒメ◎セカイイチ△ダイニカセン（レコード二分〇七秒五分一）

◇第二競馬新抽　オノガワ、クニノヒカリ、イツシンドウ、オオイタヤ、ハナザクラ、ダイマルテン、ハチライオー、マツノツフヨウ（レコード一分〇一秒五分四）

◇第三競馬抽讓　リユウモンザン△カセン、タイセイ◎ゴコウ○カノコチハヤ（レコード二分五秒五分三）

◇第四競馬呼讓　トカチダケ、チクシタマフミ◎ワカシマ△ニホンフジ○ホシカチル（レコード三分〇秒五分四）

◇第五馬ア系新　ミタカ○マンダイ、ホウタツ、アサカツ△オキカゼ、セイテン、キツコーリウ◎ニシキ、コウヨウ（レコード二分〇七秒五分一）

◇第六競馬ア系古抽　ホウトク、タイキドウ、ワカツキ、ホクリ、ホシトミ、ダイマ…ゴチユウオー△アサコ…ケンヒカリ○マツギク◎カイ（レコード二分一六秒三）

◇第七競馬新呼◎ハイトカ…ジ、ハタモリ、ケンプウ、ベ○リクワシ、カントウ（レコード二分〇一秒五分一）

◇第八競馬古呼○ハクテキ◎タカヤマ、ワカベニ、ケン、カリクク△ハクシユン、ジン、コーカク（レコード二秒五分一）

◇第九競馬ア系抽特別　カゴキンチヨ、ナガトスズヨシ○タマヒサノ二◎ヨ△セイホウ（レコード二分五分三）

◇第十競馬古抽△キソ◎タホシクモ、メイホウ、シマツダイ、モウシヨウ、ウシン○ハヤユキ（レコード二分一三秒五分四）

◇第十一競馬ア系新抽◎サイノイチ、チヨウン○クンゲキ、オカニシキ、サツコー、イヅモヨシ、ミホシナカ、チヨウメイ△ヨヒメ（レコード二分○分ノ一）

◇第十二競馬古呼　ヒロセ△モジガセキ、ヒメハルウテン、アカシダケ、キヨホシノボル○モトイチ、ジツ、イチコトブキ（レ…）

## 愛の赤道【59】

竹田敏彦作　都竹伸一繪

### 産業戰士（七）

『はア、今日から、そこの日本精工へ通つてゐますが……』

『何時頃歸りませう』

『さうですね、此頃は工場も忙しくて、大抵は六時の退けですからね』

『六時……』

一郎は、腕時計を覗たが、まだ六時には二時間近くもあるので、

『それぢや、またその頃まゐりますから、歸りましたら、さういつて、必ず待つてゐるやうにお傳へください』

かう言つた上に、なほ念のために、名刺を取出して、萬年ペンで、

六時過ぎにまた來る、今名古屋から歸つたばかりでいろいろ話もあるから、必ず待つてゐてもらひたい。家の者には何もいはないから安心してくれ。

これだけ書き添へて、

『ぢや、これを、歸つてきたら、必ず渡してくださいませ』

おかみさんに託して、店を出た。

そして再び下丸子の驛へ引返したが、今度も、家へ歸るのは後廻しにして、反對に蒲田の終點へ出て、それから省線で市內へ向つた。

そして、有樂町で下車すると市電で三宅坂の陸軍省へ急いだ。

千鶴子の居所を摑んだ一郎は、一刻も早く丸山に會つて、出發以……だ。よしつ、家へ行つてやらう……』

さう決めると、三宅坂の停留場で、青山濱谷行の電車を待つた。

澁谷驛から帝都電車で、下北澤で下車したのは、もう五時半に近く、晩秋の新市街は、侘しく夕暗に暮れそめてゐた。

丸山の家は、近所の煙草屋で訊ねるとすぐわかつた。

驛から、一丁ばかり離れた閑い空地に沿つて建つ、小綺麗な平家の離びの二軒目だつた。

玄關を入つて案內を乞うと、

『はい、只今』

若々しい女の聲がして、出てきたのは、廿二三の美しい女だつた。

『いらつしやいまし……』

二郎の姿を見て、しとやかに手を突いた。

『夕景にお邪魔をいたします……』

二郎は言つたが、宰の夕暗の中に匂ふ、細君とも娘とも見える女の顏を見て、はてなと感つた。

そして、

『丸山には、こんな年頃の妹はな い害だが？……』

## ラヂオ

十一日

朝　午前六・三〇宣戰の大詔を拜して聖德太子を偲び奉る……

## 夜櫻見物は卅錢

### 昌慶苑　德壽宮　觀覽料を値上げ

花の昌慶苑と古美術の殿堂德壽宮の觀覽料が十五日から改正値上げされることゝなつた——李王職の文化施設として卅餘年間半島美術の向上發展と科學博物の普及、併せて府民のよりよき憩ひの地域として開放されてゐた德壽宮及び昌慶苑はその後幾度かの變遷時代に直面しながらもその料金改正を行はず益々施設の充實を圖るところがあつたが、近年諸物價昂騰のため經營諸費が甚だしく膨脹し經理上の困難が次第に濃くなつたので今回思ひ切つて一部觀覽料の改正を斷行することとなつた

### 德壽宮改正觀覽料

▲大人（一人）十錢▲小人（十三歲以下五歲まで）五錢▲團體（廿人以上）大人半額　小人三錢

### 昌慶苑改正觀覽料

大人（一人）廿錢▲小人（同）十錢▲團體（廿人以上）大人十錢、軍人、小人五錢

### 同觀櫻期及び夜間

大人卅錢小人十五錢（團體取扱ひなし）

なほ昌慶苑夜間開苑中は從來夜櫻別の觀覽券を發行して客の晝夜入替を行つてゐたが入場客の殺到で毎年の雜沓に鑑み本年からは晝夜間共通の入場券を發賣することになつた

また德壽宮も從來美術館觀覽料は別に徵收してゐたものを改正料金によつて共通とし德壽宮拜觀だけの入場者には不利となつたが、德壽宮開放の目的が朝鮮古美術と內地近代美術の觀覽を求めるにあつたので改正を機會として開放當初の建前に引き戾すこととなつた

## 賞賜物件の未交付者

京城府では今般滿洲及び支那事變に從軍、又は大滿洲國建國功勞者として行賞せられた人々の中で住所不明のため賞賜物件の交付出來ない次の人々を調査してゐるが心當りの人は至急京城府秘書係へ報せてほしいと

竹添町韓淳男、光熙町金永鎬、明倫町伊藤政烈、光化門通大在鎬、齋洞町申保鎬、清松町吳中根、太平通李根守、平洞町李遂儀、並木町李永壽、三清町金容鎬、黃金町韓基國、安國町金龍雲、南大門五石田和三郎（本籍または寄住所）

## 早いのも道理

### お化け櫻　行樂の人々を驚かせる

### 咲いた櫻

櫻が咲いた……昌慶苑の櫻が咲いたのだ、七日昌慶苑に春の行樂を求めて來た人達を驚かせて休憩室裏の井戸附近に植ゑられてゐる一本の櫻の枝から優しい花びらがチラホラと咲き出てゐるのが發見された、あたりの櫻はまだふくらみかけた蕾の儘といふのにこの櫻だけは立派に咲いてゐるのだ

『梅かしら……』

『いや杏子だらう』

と人々は信ぜられぬ樣で枝に近づけば紛れもない櫻の花だ、"これは奇蹟"と同苑事務所できいてみると苑長次席の文室氏は笑ひながらから説明した

『あの樹はお化け櫻とでも云ひませうか、秋でも春でもお構ひなしに咲き出して人々を驚かせるのです、櫻の種類は正眞正銘の里櫻ですが、あの一本だけはどうした加減かあんな片輪になつたのです、今度もまた溫氣櫻さで慌て出したのでせう』

このお化け櫻の由來は以上の通りであるが、傍らの古井戸と結び合せて何となく怪談話に落ちさうな春の小咄である

## 總力增强に拍車

### 京城女子商業校で『總力隊』を結成

內鮮一體の具現は先づ國語常用と乙女達の精神的な總力訓練が緊要である—と京城女子商業學校では光山校長が音頭を取つて感激新たなる戰捷の春を迎へ同校生六百餘名を總動員して"總力隊"を編成學園の新體制運動に拍車をかけてゐる

同校は實業學校であるため社會と密接な關係を持つので團體行動の必要を感じ組を小隊、學年を中隊、全校を總括して大隊と名付け國家總力隊を組織して總力增强運動に不撓不屈の活躍を續けてゐるが、從來別個になつてゐた訓育部と教育部を合併すると共に總力聯盟とも結びつけて、百萬臣民と一體の聖業完遂へ聖戰の目的完遂に力強く踏み出してゐる

なほ國語常用を細織、宣誓式を擧げて內地のお孃さん達に負けないやう國語常用に勵んでゐる

## 感心な車掌さん

また感心な京電車掌さんの話——

十日東大門署電車課へ宛て仁寺町一九張有福さんといふ人から手紙が舞込んだ、文面には

今月一日私が初めて平壤から京城に來て尋ねる家が判らないで困つてゐるところを三十二番の車掌さんが親切にも案內してくれました、どうかこれをお禮のしるしに……

と一圓を封入して送つて來たものだつた、京電ではこの馬行車掌卅二番の金山秀男君（二二）を呼んでこのことを傳へ、社規によつて賞與を與へたのち送附された一圓はそのまゝ東大門署へ張有福さんの名で國防獻金することになつた

## 水槽の底を拔きました

### 東大門署で街の不良團檢擧

防空用水槽を破壞したり通行中の婦女子に惡戲をする街の不良青年が十日一網に搦めとられた—東大門署司法係では最近昌信町方面で夜なくく防空用の水槽を破壞し通る不穩の曲者の一團があるとの聞き込みから探つて內偵中のところ漸くその正體を突き止めたので十日午前七時刑事を總動員して襲ひ八名を檢擧した

この街の不良共は同町第十一區に居住する川上德雄（一七）武田容（二二）金村鎭盤（一七）金村萬七李正成（一七）國本永年（一八）武田永鎬（一八）金咲植（一七）＝何れも假名＝等不良の一團で惡戲半分から連日附近の防火水槽を破壞したり通行中の婦女子に戲れる等惡質行爲を繰り返してゐたもので、この中には中學生も二名含まれてゐた

東大門署では將來を戒めるため即日拘留處分に付したが、捕へられた彼等は今更自分達の行過ぎた態度を指摘されて蒼くなり係官の訊問に對しては素直に『私が栓を割りました』とか『僕が水槽の底を拔きました』とか或は『女をからかつたのは私です』と申立て係官を苦笑させた



## 當選御禮

今回平壤商工會議所議員改選に當り下名等當選の榮を得候段謹みて御禮申上候此の上は時局下會議所の使命完遂に向つて大いに邁進致す覺悟に御座候右取敢へず御禮旁々御挨拶申上候　敬具

昭和十七年三月三十一日　（五十音順）

荒木春雄　井手米次　石田耕夫　伊堂鼎曦　金丸直利　香原成睦　金健永　串崎靜男　株式會社桑田商店　桑谷實　吳條德三　定村泰元　西鮮合同電氣株式會社　高山英一　田部久三郎

## 當選御禮

今回平壤商工會議所議員改選に當り下名等當選の榮を得候段謹みて御禮申上候此の上は時局下會議所の使命完遂に向つて大いに邁進致す覺悟に御座候右取敢へず御禮旁々御挨拶申上候　敬具

昭和十七年三月三十一日　（五十音順）

朝鮮商工株式會社　朝鮮無煙炭株式會社　長富甚八郎　西原清右　原田貞輔　平澤長燁　藤井英夫　平安石油合資會社　平壤興業株式會社　松林隆莊　三江均次郎　武藤儀六　村上五一　元山雅博　李炳侑

夕刊
京城日報
京城府太平通一丁目三十一番地　京城日報社



# バタアン要塞總攻擊

# わが空陸海一體の猛攻擊

## 殘存軍六萬に殲滅の大鐵槌

## 堅壘サマト早くも完全占領

## ラマオ

## 敵主力潰滅雪崩れの潰走

**大本營發表**（十日正午）比島方面帝國陸軍部隊は、四月三日神武天皇祭を期しバタアン半島要塞に據れる米比軍に對し一齊に總攻擊を開始し戰況有利に進展中なり

【バタアン半島サマト山麓九日同盟】敵の第一抵抗線サマト山に肉薄したわが〇〇部隊は去る四日午後すでにバランガ、バカックを結ぶ道路を突破して同山中腹の敵の主要陣地を占領、引續き七日早朝より山頂の敵陣地に對して猛攻の火蓋を切り陸海荒鷲とわが〇砲部隊の協力下に猛攻を續け同日午後零時四十分遂にサマト山頂を完全に占領、敵主力部隊は早くも全線にわたつて後退を開始しつゝある

【バタアン前線九日同盟】わが空陸一體の總攻擊に堪りかねたリマイ第二陣地線に據つた敵軍は七日以來總崩れとなりバタアン軍巫路上を雪崩れを打つて退却を續けてゐる、敵はダンケルクの二の舞を恐れてシシマン、カブカベンの諸港に繫留中の大小船舶により退却を準備してゐるといはれるが、これらは何れわが海空よりする猛砲爆擊の好餌となり完全殲滅されるのも目睫に迫つてゐる

【バタアン〇〇前線九日同盟】神武天皇祭の佳き日をトして空陸一體の猛攻を開始し敵第一線の堅壘サマト山要塞を陷れたわが軍は引續き敵第二陣地線を猛擊、八日午後零時四十五分マニラ灣の要衝を突破敗敵を追つて南進中である

【バタアン前線九日同盟】バタアン攻略を目指して猛進擊を續けてゐるわが〇〇、〇〇の兩部隊は九日早朝バタアン半島東岸の要衝ラマオを占領、さらに〇〇に向つて怒濤の如き進擊戰を續行してゐるが、敵は今や總崩れとなりマリベレス島方面に敗走中である、なほわが荒鷲の猛擊に耐へかねて敵の投降するもの續出しリマイ、ラマオ方面ではすでに數千の捕虜が收容されてゐる

スビック
オロンガポ
サマト
バタアン半島
バランガ
ラマオ
マリベレス
マニラ灣
マニラ
カビテ

## 米比軍のダンケルク

### 脱出を焦つて輸送船を集結

【比島〇〇基地十日同盟】バタアン防衛第二陣地〇〇街道の東方據點リマイを奪取された敵は九日早朝來續々同地よりマリベレスを結ぶ軍巫路を南下敗走するとともにコレヒドールへの脱出を焦り、マリベレス灣を扼するコチノス岬およびシシアン灣南端に小型輸送船を集結中である

### 米も退却を公表

【リスボン八日同盟】ワシントン來電によれば米陸軍省はバタアン半島の米軍が日本軍の猛擊を受けた結果戰線を整備するため六日夜豫定の防禦陣地まで退却した旨八日公表した

### 敵師團長以下多數を捕虜

【比島〇〇基地九日同盟】わが猛攻の前に脆くもバタアン防衛の第一第二主力陣地を次ぎ〳〵に奪取された敵は各戰線にわたり混亂状態となつて八日朝來續々南下敗走中であるが、九日午前十時頃敵を急追してリマイおよびリマイ山を結ぶ〇〇街道を突破した〇〇部隊は逃げ遲れて附近の山地に遁入せんとする敵主力を發見、猛擊を加へて米軍第廿一師團長および廿二聯隊長以下米軍大尉などを含む多數の米比軍を捕虜とした

### 園田部隊長戰死

【バタアン半島九日同盟】驍勇リンガエン灣に上陸後マニラ入城に至る間赫々の戰果を收めた園田晟之助部隊長は今回のバタアン半島總攻擊に參加奮戰中、六日拂曉敵の集中砲擊を浴び遂にカトモン河畔で壯烈な戰死を遂げた

## 何事も政府まかせ

### ソ聯民衆の日常生活は明朗

### 入城の建川大使　記者團と一問一答

十日午前十一時五十分着列車で元氣一杯京城驛に降りた建川前駐ソ大使は直ちに朝鮮ホテルに入り少憩ののち午後零時四十分からロビーで記者團と會見、次の通り記者團の質問に答へた

問　ソ聯の銃後生活は

答　戰爭國家に窮乏してゐるのは事實だ、しかし、ソ聯は元來困苦缺乏に對しては訓練されてゐる國柄だけに案外平然たるものがある、帝政時代はもつと困つてゐたさうだ

問　ソ聯の民心は如何

答　われ〳〵が想像してゐるほど苦しみとも思つてゐないだらう、何も彼も政府まかせの國だし新聞、ラジオ、映畫、演劇の凡てに亘つて〝ソ聯は勝つ、本年中に獨伊を降伏せしめる〟と宣傳してゐる、民衆はこれを固く信じてゐる、戰爭だからやつてみれば分らんが日常生活の窮乏に比して民心は明朗だ

問　ソ聯の對日感情は如何

答　一般民衆は特別に對日感情と名付けられるものを持たない、政府が惡いといふものを惡いといひ良いといふものを良いと見るのがソ聯の民衆だ、政府も日本の感情を特別刺戟したり害したりすることは一切避けてゐる

問　大東亞戰爭勃發のソ聯に及ぼした影響は如何

答　大東亞戰爭に對しては極めて冷淡だ、新聞やラジオは申譯的に日本の占領地名や攻略地點を報道するといつた程度である、新聞も紙面がない關係もあらうが一面トップにデカデカと書き立てるやうなことはなく、どちらかといへば三面、四面に小さく單に事實を報ずるといつた工合だ

問　ソ聯の生産力は如何

答　御承知のやうに勞働に男女なしの國だから婦人といへども重工業方面にドシ〳〵進出してゐるし、給料も男性並に貰つて大いにやつてゐる

問　在ソ生活の感想は如何

答　一つ部屋に三ケ月も閉ぢ込められてゐるやうな生活が何で樂しいものか、とにかく第三者の眼からみたソ聯の前途は困難を思はしめるものがある、米英と味方同志ち樂觀するわけには行かないだらう、スターリン氏はモスコーにゐるよ、話が政治向きになると困るからこの邊で勘辨してくれたまへ

【寫眞＝京城驛に着いた建川大使】

## 政治的意圖なし

### 大島駐獨大使羅國で語る

【ブカレスト十日同盟】歐洲東南諸國を歴訪中の大島駐獨大使は目下當地に滯在中であるが、十日新聞記者團との會見においてその旅行目的につき左の如く語つた

今回の旅行は全く個人の資格で行つてゐるのであつて何ら政治的の意圖は有しない、歴訪諸國の現状を視察して自分の知識の啓發に資せんとするものである、ルーマニアの建設事業の進展に對して余は深い尊敬の念を捧ぐものである

## 英の焦慮頂點

### ゴムのセイロン島重大脅威

【東京電話】開戰以來マレーおよび東印度方面のゴム資源を喪失した英米側はわづかにセイロン島および南米のゴムに頼るのみとなつたが、イギリスに殘された最後のゴム産地はセイロン島だが印度洋作戰の進展に連れ重大脅威下に曝されるに至りイギリスの焦慮ぶりは頂點に達した模樣で外務省通信調査局入電によるイギリス紙の報道も此間の事情を左の如く傳へてゐる

開戰以來今日までに、世界ゴム栽培面積約八百六十萬エーカーの七十三パーセント約六百三十萬エーカーが反樞軸國側にとつて利用不可能となつた、今や米英側に殘されたゴム産地はセイロン島の推定生産額十萬八千五百トンと、南米の一萬八千六百トンのみであるが、この二つの産額を併せても統制下のイギリスの需要を辛うじて充し得るに過ぎない状態にある、セイロン島のゴム栽培面積は約六十萬エーカーでありこれらのゴム樹は現在成熟期に達してゐるといふことは重視しなければならぬ、またセイロン島の本年一月ゴム積出高は一萬五千六百トンと前年一月の四千三百五十トンに比較して著増を示したが、これは專ら栽培者に對し當局が割増金を支給して供出を獎勵せる結果であつて今や日本軍の脅威印度洋に及ぶに至り同島の勞働者が多數逃亡したため積出しは急激に減少を示しつゝあり、一方南部印度方面に産出するゴムについては印度の需要を充し得る程度でこれをイギリス本國に利用することはほとんど不可能である

## 油槽船喪失激化

### 米の石油需給、混亂甚し

【ブエノスアイレス九日同盟】樞軸國潜水艦による油槽船喪失激化されるにアメリカの石油需給は甚だしい混亂を來してゐるが、前ニューハンプシャー州知事總長ラルフ、デイビスは石油調整委員會の席上東部地方と同樣北部方面沿岸地方においても、さらにガソリンの消費規正が必要であると强調しており一般にアメリカの石油供給は從來の二十%削減をさらに强化三十%方節減となるのではないかと懸念される

# 慰問袋・月一回は忘れずに

## 英海軍の誇り潰ゆ

【リスボン九日同盟】英海軍は九日甲級巡洋艦二隻が最近印度洋上で日本軍航空部隊の攻擊を受け擊沈された旨自認したが、その艦名がコーンウオール號ならびにデヴオンシャー號と報ぜられたのは一部誤りで英海軍省の發表した艦名はコーンウオール號ならびにドセットシャー號（九、九七五トン）と判明した、ドセットシャー號は昨年五月英海空軍が獨戰鬪艦ビスマルク號を擊沈し國際魚雷をもつて最期止めを刺した巡洋艦として英海軍の誇りであつたが、今回測らずも日本航空部隊によつて復讐を受けたものである

### 長谷川總督　各閣僚に挨拶

【東京電話】[illegible]後二時より首相官邸に井野拓相を訪問要談した

## クリスマス島を占領

## 皇軍、無血上陸に成功

**大本營發表**（十日午前十一時）帝國海軍部隊は三月三十一日印度洋上クリスマス島を占領せり

【〇〇基地にて十日澤山海軍報道班員發同盟】わが海軍陸戰隊の精鋭は海軍航空部隊の協力のもとに三月三十一日早朝スンダ海峽（ジャバ、スマトラ間）の南方二百二十浬の地點にある英領クリスマス島に突如敵前上陸を敢行、敵はわが進擊を恐れてすでに同所から撤退したものゝ如く上陸部隊勇士は全然敵の抵抗を受けず午前九時五十分輝く無血上陸に成功した、同島は行政上英領海峽植民地に屬し面積六十平方哩燐礦の埋藏量九千萬トンと稱される

### クリスマス島

【東京電話】わが無敵海軍の手により印度洋上の要衝クリスマス島は完全占領されたが、クリスマス島はジャバ島の南方百九十浬、南緯十度二十五分、東經百六度、面積六十平方哩、周圍三十五哩の小島で全島石灰岩より成つてゐる、英領に編入されたのは一八八九年で爾來海峽植民地總督の下に統治されてゐた、人口一千二百人でうち歐洲人は三十人に過ぎぬ、全島熱帶林に蔽はれ良港を缺き石灰岩と燐礦石を主産物としてゐるが氣候は年平均七十五度内外の比較的健康適地である、シンガポール、ジャバの陷落後蘭印交通の要點として急速にその軍事的價値を增大し英國はこの島の防衞を重視してゐたもので無電台、小艦艇の補給施設を有してゐる

## 清鄕着々と成果

### 早くも第三期工作へ

＝畑總司令官談＝

【南京九日同盟】支那派遣軍總司令官は七、八兩日にわたり清鄕工作地區を視察し歸來後九日午後官邸で記者團と會見左の談話を發表した

**昨年**　六月以來蘇州地區に展開せられたる清鄕工作はその後日華双方の眞劍なる努力により着々と進展しすでに第一期地區、第二期地區は概ね平定して第三期地區工作に着手し蘇州、無錫、常熟の廣汎な要樞を含む人口約五百萬を算する地區まで擴張、目下更に次の推進を準備中である、昨年第一期工作を視察したる際若干の不安がないでもなかつたが

**今回**　の視察により治安の確立に伴つて政治經濟文化などの各種工作も非常に進展してをり特に、軍政教の三者が渾然一體となつて新中國建設の爲着々成果を收めてをる状況を明かに知るを得て心から滿足してゐる、そもそも清鄕工作とは國民政府の抱負を具現する模範的理想鄕を作りあげて新中國の民心を歸一し以て國民政府の基礎を確立せんとするものであつて

**この**　地域が日一日歩一歩を躍進しつゝあるとは汪主席の抱負たる和平建國の大理想が國民一體となつて躍進しつゝあることを物語るものである、從つて清鄕工作に於ては日華が心の底から相信じ苦樂を共にして協力しなければこの目的の完成は望み得ないのであるが、今度の視察において

**日華**　双方相ともに和樂の間に眞劍に各々の實務に邁進し華々しき作戰に加へて日夜肅淸建設に精進する皇軍將兵の辛苦は深くその勞を多とするものであるが、軍紀嚴肅にして秋毫も犯さざるこの皇軍の眞の姿はすなはち清鄕地區民心の絶大なる信頼を得る所以となりまた以て本工作を著しく容易にした結果となつたのである、この

**教訓**　を廣く全中國に及ぼして一日も早く新中國を建設するため役立たしめなければならぬと思ふ

畑總司令官

## 赤軍の戰車百卅臺破壞

### 獨軍各戰線で大戰果

【ベルリン九日同盟】ドイツ軍司令部九日正午發表＝一、東部戰線中部戰線、北部戰線赤軍の局地的攻擊はドイツ軍の反擊により擊退された

一、赤軍はさきに獨分艦台軍の占領せるフインランド灣ケルテ八島に攻擊を加へ來たが、わが方の反擊により潰滅した

一、コーカサス沿岸方面戰鬪では ドイツ戰鬪機隊は一晝夜連續の猛攻をつゞけ港灣施設および精油所に大損害を與へた

一、三月廿一日から四月八日に至る期間にドイツ軍は東部戰線においてソ聯戰車百卅二台を破壞した

一、イギリス軍の有力なる部隊はキレナイカの獨伊陣地に進擊を試みたがわが方の反擊で失敗した

一、ドイツ空軍部隊は引つゞきマルタ島に對し大空襲を敢行飛行場軍事施設、軍需品倉庫および敵船舶を爆擊大損害を與へた

## 敵性を清算

### マレー華僑再建設へ

昭南港特電【九日發】マレー半島全人口の半數を占め現有財産六億ドルといふ華僑の動向は再建途上にあるマレーにおいて大きな問題として注目を惹いてゐる

今次大東亞戰の開始前まではマレー華僑は南方華僑の第一位を占め政治的、經濟的な米英依存により露骨な敵性ぶりを發揮してゐたが、開戰による英軍の敗戰は彼等に百八十度の轉向を强へた、即ちマレー半島の首都クアラルンプール、シンガポールの陷落によつて彼等は漸く米英依存の惡夢から醒め殊に皇軍の終始不動の嚴然たる態度の表明によつて今さらの如く驚きつゝ、作戰の推移を見守り、我がマレー作戰の半ばで華僑獨得の態度を示し献金運動をやつた者もあつたが、不逞華僑及び抗日華僑等の擾亂、妨害に作戰に障害を與へた場合は華僑全體の責任として考へるといふ不變の方針等に彼等は更に反省の度を加へるに至つた

特にシンガポール陷落後は彼等は自發的に華僑クラブを作り、或は國防献金運動を起すといふやうな轉向ぶりでマレー華僑の再建設に踏み出した、軍當局もこれを諒として專ら華僑のもつ人的物的資源及び經驗を充分に生かして使ふべく第一期工作ともいふべき段階に至つたとも見られるので今後におけるマレー華僑の動向は注目されてゐる、大東亞建設のため、全面的に協力すること

## 河北の敵軍戰意喪失

【石門九日同盟】河北省における敵軍は打ちつゞくわが討伐戰と物資缺乏の深刻化と共に戰意喪失し逃亡者、歸順者續出しまた捕虜も大東亞戰爭勃發以來四ケ月間に五千八百十三名の多數に上り、今や全く潰滅的状態に陷つてゐる、なほ同地區における三月中の綜合戰果次の如し

交戰敵兵力四萬九千七百七十、交戰回數五百二十二、敵遺棄死體二千八百十八、捕虜一千四百四十九、鹵獲品小銃十、迫擊砲二十六、小銃一千六百六十一その他兵器彈藥など多數

## 陸軍司政官發令（十日附）

【東京電話】
任陸軍司政官（五）（各通）
土木事務官　安岡九九
同　國府邦春夫

## ＝人＝

◇石田千太郎氏（本府厚生局長）東上中、十七日『大陸』で歸任
◇小倉武之助氏（朝鮮合同電氣社長）十日『あかつき』で歸城
◇岡田玄武氏（全南順天公立農業學校長）新任挨拶の爲十日來社
◇板倉邦介氏（京城公立商業學校長）新任挨拶のため十日來社
◇安東義矩氏（朝鮮鐵道敷設常務理事）十日大阪へ、十五日歸城
◇李同根氏（平北道會議員）同上
◇永田種秀氏（本府財務局長）東上中のところ十三日『大陸』にて歸任の豫定

## 時の錄音

沈默を破つて、果然バタアン半島總攻擊開始。待つてました。
×
我が必勝の進擊に敵早くも逃走、鎧袖一觸、忽ち敵は潰滅だ。
×
皇を開と早くも一目散に逃げ出した。たかが、マツカーサーの部下だ、ろくな兵隊がゐるわけがない。
×
赫々、印度洋上のわが偉大なる戰果。これでもチヤーチルよ印度を取す氣か。
×
虎の子艦隊をいくらひつ張つて來ても、海の藻屑が增えるばかりさ。
×
あつさり諦めて、東亞から腕を拔く方がお爲めですぞ。
×
英領クリスマス島占領、豆粒ほどの島でも敵は敵だ。斷じて見逃しはせぬぞ。

# 戰爆連合アキャブ大爆撃詳報

## 凄い妙技"三段構へ"

## 敵艦船・飛行場忽ち潰ゆ

【〇〇基地八日村上海軍報道班員發】『本日ビルマ灣アキャブに對して空襲を敢行する、アキャブは元來敵空軍の中繼基地であつたが、ラングーン陥落後敵空軍は本基地を建直し策動の根城としてゐる、偵察機の報告では敵戰鬪機も若干ゐる模様であるから十分警戒し存分の力を發揮せよ、諸士の奮鬪と成功を祈る』と力強い訓示をうけて六日早朝海鷲爆撃部隊は鮮かに〇〇基地を離れた、快適の飛翔を續けること〇時間遙か北方に續く山脈の頂上に純白の雲が美しく棚引いてゐる

**記者はこの日**　〇〇中尉に便乘を許され壯途に參加することが出來た、霧に惱まされ山脈を越えベンガル灣に出ると霧は遂れて白亜雲の去來する間から群青色のベンガル灣が眼下に見える、アキャブの東南ハンター灣は島が多く瀬戸内海の繪な風景を思はせる、『確認の敵戰鬪機〇〇機〇〇基地を發進せり』との無電が入つた、目指すアキャブはもう間近い、乘員の顔は緊張する『前線〇隊〇隊は第一目標爆撃後アキャブ港の艦船を爆撃せよ』との命令だ、港内艦船、第三目標施設である

**先行する〇隊が**　飛行場を完膚なきまでに粉碎した、われ〳〵〇隊は艦船をやつつけろといふのだ、今日はすばらしい獲物があるぞと記者も乘員に交つて張切つた、突然右の雲の中から豆粒大の黒いものが點々と見えだした、『戰鬪機だ』敵機かと思つたが乘員が悠々としてゐるので、さつき無電で入つた友軍機とすぐ判つた、黒い點々が見る〳〵うちに飛行機の形に見えだした、爆撃編隊の上に出たり、下になつたり前後左右に悠々と自由自在に行動する、その早いことさながら燕の如く目が廻るやうだ、如何にもたのもしい、見るものをして力強さを感ぜしめる

**やがて正午近く**　アキャブ附近上空に到着、幸ひ邪魔な雲も一つなく偵察機の誘導でわが大編隊は漸次高度を下げてゆく『やつた』前線〇隊が飛行場目がけて爆彈を投下した、われわれの編隊もつゞいて投彈、飛行場の滑走路はL型をしてゐる、滑走路上には大型機一、小型機二がゐる、前線〇隊は小型機と滑走路を彈幕で包んだ、われわれの編隊は格納庫に命中彈を浴せて大型機を彈幕で包んだ

**その彈幕の上に**　さらに後續〇隊が巨彈をもつて最後の止めを刺した、第一目標の飛行場はこれで完全に爆碎、余燼一つも無駄がない、アキャブの北へ出て西から大きく旋回し燃える飛行場を悠々眺めながら一周りした、大型機は赤い焔を上げて燃えてをり小型機も粉碎、また格納庫らしき建物からはどす黒い煙がもく〳〵と立ち上つてゐた、爆藥を納めてゐた倉庫であらう、敵は一機も舞上つて來なかつた、われに挑戰する勇氣もなかつたのであらう

**この大編隊に度膽**　を拔かれた形だ、飛行場上空を旋回しながら見るとわが戰鬪機が彈幕の間にちら〳〵と動いてゐる、銃撃で低空攻撃を敢行してゐるのだ、勇猛果敢な活躍である、ほとんど建物すれ〳〵に飛び廻つてゐる、飛行場を血祭にあげた爆撃機隊はついで港内に進攻した、爆彈はまだそれ〴〵の腹に殘つてゐる、よい餌がある、機雷敷設艦と大小無數の船舶がゐる、このころから敵の高角砲はやうやく猛烈となつた、森陰と艦船から無數に赤い火を吹き、空で黒くあるひは白く炸裂するが、われらの機に近くまで來るのはほんの僅かしかない

**高角砲が下の方で**　炸裂してくれゝばこちらは氣が楽だ、敷設艦と商船を目がけて爆撃コースに入つた大編隊は、三段に分れて連續爆撃を行つた、第一陣は商船を、第二、第三陣は敷設艦を狙つた、商船は大破したらしい、敷設艦はジグザグコースをとつて逃げまはつたが第二、第三陣の爆撃によつて艦尾に直撃彈を受け白い煙を吐きながら見る〳〵うちに艦尾から沈没してゆく、こゝでもわが戰鬪機隊の大膽な戰ひぶりを目撃した、敵地上砲火を尻目に砲艦や商船等を四方から取り卷き集中銃撃を加へてゐるではないか

**敷設艦は全く海面**　から姿を沒してしまつた、機上では凱歌と拍手がしばし止まない、今日の爆撃行は大成功だつた

## 更に五十八名拘禁
### ブラジルの暴擧募る

【リスボン八日同盟】ブラジル政府の樞軸國人に對する壓迫はますます加重されてゐる模様であるが、八日ロイター通信リオデジャネイロ電によれば樞軸國人五十八名がさらに拘禁されたといはれる

## 稅關長會議

【東京電話】大藏省では九日午前八時四十五分より本省會議室に稅關長會議を開き、賀屋藏相より訓示あつて左記諸問事項につき協議した、なほ會議は十一日まで續開する

一、大東亞共榮圏内の物資購入の適正敏買を期するに必要な關稅および交易上の施策如何

一、大東亞戰爭下の時局に即應するため稅關事務執行上改善すべき事項如何

## 米、墨新協定成立

【ブエノスアイレス九日同盟】アメリカのメキシコ經濟問題に關し今回米墨兩國間に新協定が成立しメキシコはます〳〵アメリカの戰爭遂行に協力することとなつた、新協定の骨子は次の通りである

一、メキシコ工業の設備改善、なかんづくアメリカ輸入銀行の融資による鋼製鍊工場の新設

二、メキシコ鐵道能力の擴充およびこれに必要な車輛の增加

三、アメリカの資材機械による小貨物船建造可能性の調査

四、アメリカ製資材による大石油精油所のメキシコ國内における建設

五、米墨間の通商協定の即時締結

## 本社寄託献金
### 九日の扱ひ

**國防献金　陸軍**

十三圓五十錢京城府三坂通四〇三坂少年團一同▲七圓三十錢京城府蓬萊町一ノ一三六川本秀雄▲五圓三十五錢本府濟生院養育部實習生一同▲五圓京城府鍾路五ノ四京城職業紹介所職業補導事務科修了生▲四圓七十錢京城府旭丘中學校一ノ四新井武史

日計金　三十五圓八十五錢也

累計金　七十三萬一千七十一圓二十七錢也

**國防献金　海軍**

百圓　京城府三坂通三五八ノ三九宮田富作

三十圓（海軍）右同所同人

日計金　百三十圓也

**皇軍慰問金**

累計金　十七萬四百十八圓五十九錢也

**國内防空監視隊**

累計金　一萬六千二百七十八圓十錢也

**九軍神顯彰金**

累計金　二千百五十七圓二十二錢也

總計金九十一萬九千九百二十五圓十九錢也

## 合格おめでたう

### 京城商業實踐校

驪川泰敏、高木廷熙、宮本貫湜、澤原俊黙、木村兆鎔、南原有繁、金林善植、昌原任恒、昌原海鳳、木村信雄、金山炳默、安部武夫、平田龍三、金村雲錫、上野炳五、清原君範、金宮正旼、牧山松植、林炳九、長田元世界、菊山彥行、金川和雄、平根得相、金田峰松、永山琪煥、金城台根、柳村洋明、梅原海英、芝山秀一郎、仲原正一、李本丸達、結城榮圓、井垣義雄、芝川相洙、中池啓春、松本敏雄、松本輝雄、松原勇雄、平川熙朝、竹村重實、金山順五、松本鍾湍、大森健秀、大金基鎔、新並基善、山本基春、徳本廣烈、林漢圭、王川榮一、驪川治、南漢燉、西村五源、梁川在晧、大村商錫、山本秉善、光並嘉榮、豐川隆雄、實城武政、木下敬穆、岩城政浩、稻宮輔欽、金山春同、青木敬雄、新井張淳、成田政涵、牧村彥哲、松原正治、松原鳳柱、廣岩慶哉、山本吉星、松山周一、金村映漢、吉原哲吉、山本承烈、金子孝太郎、宮本璘、慶延仁煥、金山海均、金澤光雄、大村健一、古城正雄、原田瀾龍、太原道寬、金岡起雄、結城應彬、高木泰植、三和一夫、金本武彦、金本光助、金島義郎、島山炳運、金澤榮夫、金原俊錫、丹禹相燮、宗本瀧俊、三谷鍾浩、金元洪武、利川好鍾、光村俊雄、宮本運夔、竹原麟、松原顯正、松本龍夫、國本泰武、松岡元俊、宮内文一、豐山長川、岡山宗英、伊藤錫鎬、金倉宗英、林榮洙、國本鎭奎、島山炳俊、李島能林、錦山有吉、白松在煥、權本赫周、木村太商、山本柄雄、梁川點楨、金谷實大、木川鍾瑾、清山昌孝、金本鍾崙、島川洪一、白川壽昌、金原東仁、柳德永、石城兌乾、光山寶明、山本麟永、金城正剛、青竹泰和、金正璘柱、松田高治、東島興淳、完山康福、綾城鍾書、玉田宙賢、山田東保、安田政雄、金林元次郎、清松盛寶、金田泰榮、松谷英一、伊藤仁勝、林禮寬、永山芳吉、松山宗根、松本武致、岸村政雄、長本俊必、新井章夫、松本忠興、新井元淳、青林寅旭、松原正義、平田炳基、金坡得雄

### 善隣商業專修科

岩井光宏、清原海鋼、高橋奉植、宮本昌均、金海炫善、金光正一、德山福民、石原鍾泰、泰川獻恒、吳山湘根、高原宏、水原文榮、中山俊光、金岡乾淵、泉原政暉、安田昌善、金澤孝治、東原允市、新井元根、金原命山、新本亨、小寺鎬吉、池山福永、迎日張滏、密陽夫、松本炳舜、忠本義雄、清水隆、池山大根、西上賢秀、月城良吉、河山秀勳、高松永圭、中村寬二、神井明植、豐川海光、白宮彰平、金澤尚雄、廣瀬隆、高光億、安田幸吉、松崎七五三晉、松山懋烈、宮野忠熙、松島容玉、陽川相朝、佐藤正昭、池原亨龜、平田碣碩、李榮鎭、高松榮培、樋野敬二、平申鉉台、本田五郎、新井傑雄、金山禹、河本原一、清川三千、檜山健藏、香山容龍、賀村正元、竹山道元、河本榮三郎、宮垣博、松平政、金澤秀光、金岡東雄、綾村山宗、誠習勇鎭、松原任井、吉田貞利、上原永吉、西原泰亨、三島正雄、西本作淳、金田炳輝、駒城潤相、金井弘濟、豐浦敦元、德原基永、青木健信、内山慶介、吳村世麟、大山元泰、朝野重貴、朝本萬濟、橋本權孝、山内富雄、平申光圭、碧木源次郎、平林亨善、松井英三、水原天休、木村鳳煥、金山光政、清水秀政、白川完起、金光福萬、金村俊基、昌原斗和、檜垣光秀、白川美治、竹山明煥、木村榮吉、西山宏、姜本信源、朴本採還、國本俊錫、千葉慶治、林茂松、金田在德、上内清、金村義男、橫尾富治、伏見朔一、曲原明烈、芳山隆、金田漢哲、飯田巖、松本東信、竜田承一、新平隆久、青田英秀、金本幸治、松山昌國、李本毅昇、後藤里見、松浦白永、世山啟根、山本植烈、山本俊喆、水原祥基、尾崎和夫、水谷昭三、林鍾恩、木村陽信、佐野健次、林東勳、齊藤

## 文化

### 最初の渡歐者（下）
#### ＝法王廳へのわが少年使節＝

蔡　呂　九

（永田春水氏筆）

少年使節がローマ法王グレゴリウス十三世に謁したのはローマ到着の翌日である。

一行は法王から懇ろな待遇を受け、今日は饗宴、明日は遊覽と日を過してゐるうち、一行中の中浦ジュリアンはマラリヤに罹つたが法王は名醫を遣はして治療に當らせたので案外に早く快癒した、少年使節等の滯在中、グレゴリウス十三世は遽かに病死し、シクスッス五世が新法王に選ばれたが、一行はその即位式に參列し、新法王から前法王に劣らぬ厚遇を受けた

使節等は同年六月三日ローマを辭去し、道中いたる所盛大な歡迎を受けつつヴエネチア、ジエノアを經て再びスペインに立ち戻り、リスボンから往路と逆の航路を辿つて、天正十五年五月末ゴアに歸着した。ここでバリニアノ師と久方振りに再會して共に歸國の途に就き、天正十八年六月、少年使節一行は實に前後八年の日子を費して再び故國の土を踏んだのである。

しかし、この時わが國においては既に秀吉の禁教令が出た後だつたので、ゴア總督の書状を携行したバリニアノは勿論のこと、少年使節一行が秀吉に面謁するには多少の困難を伴つたが、切支丹大名の斡旋によつて漸く事が運び、天正十九年一月、彼等一行は聚樂第において秀吉に謁することができた。結果は上首尾で、少年使節は夫々破格の厚遇を與へられたといふことである。

彼等の訪れた歐洲は恰も文藝復興文化の全盛期だつたのであるから、もしもその後の禁令とそれに續く鎖國の時代が來なかつたならば、少年使節の訪歐を契機とし、わが國が如何に豐富にイタリー文化の影響を受けたであらうかは、蓋し想像に餘りあるものである。

彼等こそは、わが國から歐洲へ派遣された最初の使節であるばかりでなく、天文廿年ザビエールが日本辭去の際に伴ひ歸つたと傳へられる摩薩人某を除けば、最初に歐洲を見た日本人である、わが國が大東亞海に皇威をひろめつつあるとき、天正の昔、風波に脆い帆船に身を托し萬里の波濤を越えて歐洲の地に使した少年使節の意氣を偲ふことは、まことに感慨深いものがある。

## 京日歌壇
### 吉井勇選

京城　福島友子

店頭に林檎か紅く盛られある春夜は愉し心足らふも

聞きしむる臨時ニュースの聲の冴えシンガポールはまさしく陷ちたり

同　順子

よき夢を見たる朝なり氣も輕く窓の障子をあけ放ちたり

新聞に故郷のことを書きてありひたなつかしく讀みかへし居り

同　宮本季雄

病み床に稚かなる歌詠み給ふ見知らぬ人をなつかしみをり

同じ土地に住まひて詠めるみ歌なれば季節感などただに迫り來

春川　松岡あや

全機無事歸還とラジオ報すれば吉事はうれしと我につげさぬ

何事も神の御旨にそむかじと思ふこの頃心やすけし

**雜詠**　▲毎月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚三首限り認め京城日報社學藝部『京日歌壇』あて▲住所氏名明記のこと

## "移動劇團"の中央報告公演
### 府民館で開催

娛樂に惠まれない農山漁村や、産業戰士に健全娛樂を提供すべく、昨夏朝鮮演劇協會直轄の下に結成組織された"移動劇團"は爾來各方面の支援も增して、その利用範圍を擴大しつゝあるが、來る十三、十四の兩日晝夜府民館で中央報告公演會を催す

演目は宋影作『演劇挺身隊』『春の波』の二本立で、觀覽料は勤勞階級優待の意味で、一般は五十錢、工場勞務者百名以上は二十五錢となつてゐるが、此團體の場合は太平通一ノ廿九朝鮮演劇協會へ申込めばよい

## 現代劇場の"北進隊"

金村龍濟

昨年三月『黑龍江』の旗擧げ公演以來、國民演劇建設の第一線に活躍してゐる現代劇場の府民館における中央公演は非常な好果を收めた。

出し物は柳致眞氏作・朱永渉氏演出の『北進隊』四幕である。この作者は前回の『黑龍江』においてそれまでの創作態度から全く意識的なる新しい道を自ら踏み出したのであつたが今度の『北進隊』は、從前の力竜に國民的感動の昂まつた自然さにおいて發揮された佳作である。

原作の内容は、今から卅九年前の日露戰爭當時、現在の内鮮一體の信念と東亞共榮圏の理想の先驅者とも云ふべき李容九を首領として會員百萬を擁する一進會の血闘史が舞臺化されたもので、一面では當時韓國の政黨史を物語る『親日』と『親露』の派閥暗闘の思想と友情と戀愛と師弟愛の人間味を扱ひ、戰時下の我々に多くの反省と致訓を與へるばかりでなく、國民演劇の『歷史もの』に對する大きな示唆を見せ、玄濟明の指揮による吹奏樂の伴奏は勇壯且つ豪華で、四幕始めのシュプレキ、ボールが建設の象徴として力強い効果を齎してゐる。

演技についていふと、この劇團の若い新劇の傳統が、いよいよもの云ふ強味を現して、李白水氏の李容九は打つて付けの堂々たる貫祿で、李離氏の高白先、徐月影氏の鄭炳朝何れも熱演であるがただ性格設定から來たであらう李離氏の情熱的明快さが徐月影氏の貴族的重厚さと相對して、兩者の演ずる内容的比重が反作用するかの感があつた、紅一點なる朴貞淑の金素英氏は、朝鮮婦人の奥ゆかしさの中に、當時のモダン女性の進歩性を取り入れたタイプをよく生かせてゐたが、思ひなしか劇的すぎて、アクションが更に欲しかつた。金化三氏の内田良平と工事主任は適役で、内地人の言語動作には危げがなかつた。

裝置も立派で上下左右奥行を大舞臺一ぱい展げたのは氣持がよい、寫實性がよく利いて、第四景を開け放つたのは金影一氏の新しい意匠として面白かつた。

## 不連續線
### 空の色

今でも私は、すぐ腹立たしくなることがあるが、廿代の頃には、もつと激しかつた。

そんな時、私は、空の色を見ることにした。

晴れて澄みわたる深い空の色、曇つて垂れ下る鈍い空の色、雨を伴ふ瀬明に似た空の色は、それぞれに自然の大らかなる現象の一つとして映り、小我に纏綿され勝な自分の狹さを反省するには、この上なき對象であつた。

そして、それによつて、多少の修養を積むことが出來たが、今日この頃に仰ぐ空の色には、あゝこれが戰時の日本かと思はれる有難さが先づ考へられる。

人生は、空の色に教へられる。



## 兒童生徒向映畫

總督府學務局選定による三月一日から同十五日までの間における兒童生徒向き映畫としての二作が決定した

▲新興京都作品、劇映畫『大釜次郎』十四卷　日活多摩川作品劇映畫『將軍と參謀と兵』十一卷

## 次週番組

★東寶若草劇場（十三日から十六日まで）▲東寶作品、入江たか子、山田五十鈴主演『雪子と夏代』▲東寶作品、德川夢聲主演『子寶夫婦』

★京城寶塚劇場（十六日から廿二日まで）▲獨トビス作品、ジャック・フエーデ監督、フランソワズ・ロゼエ主演『旅する人々』▲なつかしみショウ實演

★和信（十六日から廿二日まで）▲日本ニュース▲東日大毎映畫讀本『營働け』▲同『家庭の鑛脈』▲寶塚映畫『振袖使節道中記』▲日本映畫社提供『乙女の職場』▲同『戰線二萬粁』

## 大月源二個展

來る十二日から十六日までの五日間、京城の丁子屋四階畫廊で大月源二氏の洋畫個人展が開かれる大月氏は日本油繪會及び上村會の同人でまた一水會の常連畫家であり、山口長男氏と同期生である關係から、同氏宅を根據に鮮内の風景も多數寫生して出陳することになつてゐる、風景に靜物に人物にと萬能畫家であるところも特色であらう

## 文化だより

◇同上會　財團法人修養團朝鮮總局の同上會は十一日（土）午後七時から京城府太平通遞信事業會館で開催、中山教化部長、渡邊講師の講演あり

◇『水站』四月例會　十一日（土）午後六時半から北米倉町遞行集會所で開催、題『連翹』『鵲の巣』會費廿錢

## 三國志（774）
### （赤壁の卷）

吉川英治（作）　矢野橋村（畫）

**風雛去る（一）**

喪旗を垂れ、柩を蔽せた船は、寂々たる中箭を流しながら夜航して巴丘を出で呉へ下つて行つた。

『なに周瑜が死んだと?』

孫權は、彼の遺書を手にするまで、信じなかつた。いや信じたくなかつた。

周瑜の遺書には、

瑜、死ニ臨ミ、遺言謹シテ書ヲ主君明公ノ麾下ニ致ス

と、書き始めて、縷々といま瞑れる無念を陳べ、呉の將來を憂ひ、その國策を指し、そして終りには、

『自分の亡い後は、魯肅を大都督として職をお任せあれば、彼は忠實忠良な仁者であるから、外に誤またず、内に人心を傾けませう』

ともいひ足してあつた。

孫權の悲嘆はいふまでもない。臓信と、呉の將來を思つて、

『周瑜のやうな王佐の才を亡くして。この後、何を力と恃まう』

と、慟哭した。

けれど、いつ泣いてゐる所ではないと、張昭その他の重臣たちに勵まされて、周瑜の遺言を守り魯肅を大都督に任命した。以後、呉の軍事は總て、彼の手に委ねられた。

もちろん、國葬を以て、遺骸は篤く葬られた。國中、喪に服して哀號の色もまだ拭はれないうちに一船、江を下つて來て、

『元勲、瑜公の死を聞き、謹んで遠くより、おくやみに來ました』

と、告げた者がある。

さう闕門へ告げに來た者は、なほも諸葛亮であつたが、正使は諸葛孔明その人であり、玄徳の名代として、從者五百餘をつれて上陸した。

喪を弔ふ――と稱して來た者を拒むわけにもゆかなかつた。魯肅が迎へて對面した。しかし故人周瑜の部下や、呉の諸將も口々に、

『斬つてしまへ』

『これへ來たこそ幸なれ、彼の首を靈前に供へ、故人の怨みを今ぞ晴らさん』

と、騒きあつた。

けれど、孔明のそばには、たえず趙雲が油斷なく眼をくばつてゐるので、容易に手が下せなかつた。しかも孔明は、露ほどな不安も姿にとめてゐなかつた。

殺氣滿ち盈つ中を歩々水の如くすゝんで、周瑜の祭壇に詣るや、その前に額いて、やゝ久しく獻拜してゐたが、やがて携へて來た酒その他の種々を供へ、靈前に向つて恭しく自筆の弔文を讀んだ。

維、大漢ノ建安十五年。南陽、諸葛亮、謹ンデ祭ヲ大都督公瑾周府君ノ靈前ニ致シテ曰ふ。

嗚呼公瑾不幸ニシテ夭亡ス、天人倶ニ傷マザルハ非ズ……

孔明の聲は一語一句、呉將の肺腑に沁みた。弔文は長い辭句と切々たる名文によつて綴られ、聞く者、哭くまいとしても哭かずにゐられなかつた。

――寬ヤ不才、計ヲ問ヒ、謀ヲ求ム。呉ヲ佐ケ曹ヲ拒ミ、漢ヲ輔ケ劉ヲ安ンジ、首尾掎角、爲ニ先ンジ。嗚呼公瑾、今ヤ永ク別ル。何ヲ慮リ何ヲカ望マン。冥々滅々、靈アラバ我心ヲ鑑ラレヨ。此ヨリ天下再ビ知音無カラン。嗚呼痛マシイ哉……

讀み終ると孔明は、ふたゝび地に伏して大いに哭き、哀慟の眞情見るも傷ましいばかりだつたので、並び居る呉の將士も悉く貰ひ泣きして、心ひそかに語から思つた。

（周瑜と孔明とは、たがひに仲が惡く、周瑜はつねに孔明を亡き者にしようとし、孔明もまた周瑜に害意をふくんでゐると聞いてゐたが……この容子では、まるで骨肉の者と別れたやうな嘆き方だ、察するところ周瑜の死はまつたく孔明の爲ではなく、むしろ周瑜自身の狹量が、みづから求めて死を取つたものだらう。どうも、それには致し方もない……）

初めの殺意は、捨て、後の興論となつて、魯肅以下みな引留めたが、孔明は長居は無用と、惜しまれる袂をふり切つて、その日のうちにすぐ船へ歸つて行つた。

ところが、こゝにたゞ一人、城門の陰から見え隱れに、孔明のあとを尾けて行つた假衣竹冠のみすぼらしい浪人者があつた。

## 新刊紹介

▲史歌太平洋戰（川田順著）大東亞戰を詠んだ短歌集（一圓六十錢　東京・大森・調布嶺町八八　[illegible]書林）

▲人間敬語論（[illegible]著）（一圓八十錢、東京・下谷・上野櫻木町一、天業民報社）

▲若き女性の問題（三田谷啓著）ともすれば狹き人生觀の中に現實の快を迫はんとする女性に警鐘を打ち、蒙を啓く點多く若き女性は勿論、男性も共に一讀の書である（五十錢、東京、小石川、春日町一ノ一同文館出版部）

▲綠旗（四月號）『大東亞共榮圏と日本語の進路』外戰事・青年・食事號（五十錢、京城・初音町、綠旗聯盟）